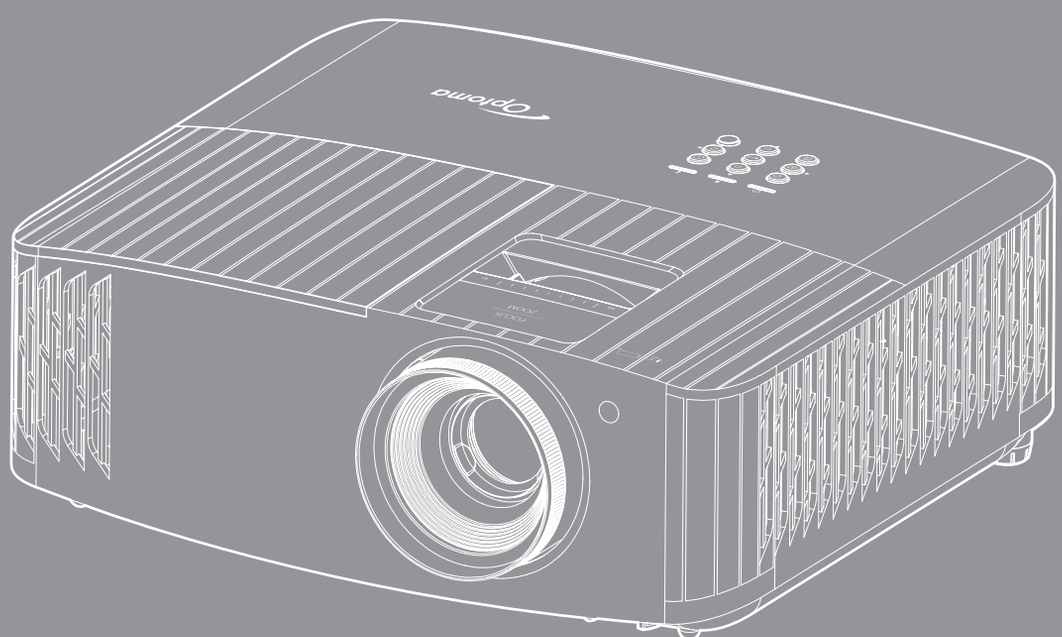
DLP® プロジェクター

UHD33

取扱説明書



4K ULTRA HD™ HDMI™ HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE DLP® TEXAS INSTRUMENTS 4K UHD HDR COMPATIBLE

目次

安全 4

安全に関するご注意 4
レンズの清掃 5
3D 安全情報 6
著作権 6
免責条項 7
商標認識 7
FCC 7
EU 諸国への適合宣言 8
WEEE 8

はじめに 9

パッケージの内容 9
標準アクセサリー 9
オプションのアクセサリー 9
製品の各部名称 10
接続 11
キーパッド 12
リモコン 13

設定と設置 14

プロジェクターを設置する 14
ソースをプロジェクターに接続する 15
投写画像の調整 16
リモコンの準備 17

プロジェクターを使用する 19

プロジェクターの電源を入れる/切る 19
入力ソースを選択する 20
メニューナビゲーションと機能 21
OSD メニューツリー 22
ディスプレーメニュー 26
オーディオメニュー 31
設定メニュー 32
情報メニュー 35

保守管理 36

ランプの交換 (メンテナンス担当者のみ) 36

追加情報 38

対応解像度..... 38
イメージサイズと投写距離 43
プロジェクターの寸法と天井取り付け 44
IR リモートコード 45
故障かなと思ったら..... 47
警告インジケーター 48

安全

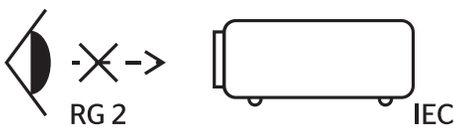
	正三角形内部の矢印の付いた稲妻は、製品の筐体内部に感電の恐れのある、絶縁されていない「危険な電圧」が相当な規模 で存在していることをユーザーに警告するものです。
	正三角形内部の感嘆符は、機器に付属するマニュアルに、重要な操作およびメンテナンス (修理点検など) に関する指示があることをユーザーに警告するものです。

この取扱説明書で推奨されたすべての警告、安全上のご注意およびメンテナンスの指示に従ってください。

感電を防止するため、装置およびその周辺装置を適切に接地（アース）してください。

安全に関するご注意

- ランプの有効寿命を延ばすため、必ず、ランプを少なくとも 60 秒間オンにし、強制シャットダウンを避けてください。



- 光線を目に入れないでください (RG2)。
  あらゆる明るい光源と同様に、光線を直接目に入れないでください (RG2 IEC 62471-5:2015)。
- 通気孔を塞がないでください。プロジェクターを過熱から守り、正常な動作を保つため、通気孔を塞がないような場所に設置してください。飲み物等が置かれたコーヒーテーブルや、ソファ、ベッドにプロジェクターを置かないでください。また、本棚、戸棚など風通しの悪い狭い場所に置かないでください。
- 火事や感電のリスクがありますので、プロジェクターを雨や湿気にさらさないでください。ラジエーター、ヒーター、ストーブまたは熱を発生するその他の機器 (アンプを含む) など、熱源のそばに設置しないでください。
- プロジェクター内部に、異物や液体が入らないよう、ご注意ください。危険な電圧部分に触れて、部品がショ ートしたり、火災、感電を引き起こす原因になります。
- 以下のような環境下では使用しないでください。
  - 極端に気温の高い、低い、あるいは湿気の多い場所。
    (i) 室温が 5°C ～ 40°C の範囲に保たれていることを確認します
    (ii)相対湿度は 10% ～ 85% の範囲です
  - 大量のほこりや汚れにさらされる場所。
  - 強い磁場が集まる装置の傍に置く。
  - 直射日光の当たる場所。
- 可燃性ガスや爆発性ガスが空気中に含まれる可能性がある場所でプロジェクターを使用しないでください。プロジェクターの使用中、中のランプが高温になり、ガスが発火し、火災が発生することがあります。
- 物理的に破損している、または乱用された痕跡のある装置は使用しないでください。物理的なダメージや酷使とは以下の通りです (ただしこれらに限定されません):
  - 装置を落とした。
  - 電源装置のコードまたはプラグが壊れている。

– プロジェクターに液体をこぼした。

– プロジェクターを、雨や湿気にさらしてしまった。

– プロジェクター内部に何らかの異物を落とした。または、内部で何かが緩んでいる音がする。

- 不安定な場所にプロジェクターを置かないでください。プロジェクターが落下して壊れたり、人身事故を起こす可能性があります。
- プロジェクターの使用中、プロジェクターのレンズから発せられる光を遮断しないでください。光が物体を暖め、溶解、火傷、火災などを引き起こす恐れがあります。
- プロジェクターのカバーを外したり、本体を分解したりしないでください。感電の原因になります。
- お客様自身でこのプロジェクターを修理しないでください。カバーを開けたり取り外したりすると、危険な電圧やその他の危険にさらされます。本機を修理に出す前に、テクニカルサポートセンターにお電話ください。
- 安全に関係する注意書きについては、プロジェクターの本体をご覧ください。
- 本機の修理は、テクニカルサポートセンターにお電話ください。
- メーカー指定の付属品/アクセサリーのみをご使用ください。
- プロジェクターの使用中、プロジェクターのレンズを直視しないでください。強力な光線により、視力障害を引き起こす恐れがあります。
- ランプを交換する際は、本体を十分に放熱させてから行ってください。ページに記載されている指示に従ってください。 （36-37）
- 本プロジェクターは、ランプの寿命を自動的に検知します。警告メッセージが表示されたら、必ずランプを交換してください。
- ランプモジュールを交換した場合は、オンスクリーン表示の [ランプ設定] にある [ランプリセット] 機能を使用してリセットします。
- プロジェクターの電源を切るときは、冷却サイクルが完了したことを確認してから、電源コードを抜いてください。プロジェクターは、少なくとも 90 秒間、放熱させてください。
- ランプの寿命が近づくと、[ランプ寿命が過ぎています] というメッセージが画面上に表示されます。できるだけ速やかに、最寄りの販売店またはテクニカルサポートセンターに連絡して、ランプを交換してください。
- 本体のスイッチをオフにして、電源プラグをコンセントから抜いてから、本機をクリーニングしてください。
- ディスプレイの筐体を洗浄する際は、中性洗剤と柔らかい乾いた布をご使用ください。本体を研磨剤、ワックス、溶剤で洗浄しないでください。
- 本機を長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

注記： *ランプが寿命に達すると、ランプモジュールを交換するまでプロジェクターの電源は入りません。[ランプの交換] (36-37ページ) に記載の手順に従ってランプを交換してください。*

- *振動や衝撃を受けるような場所にプロジェクターを設置しないでください。*
- *レンズを素手で触らないでください。*
- *保管前にリモコンから電池を取り外してください。長期間、電池がリモコンに入っていると、液漏れが発生する恐れがあります。*
- *石油または煙草からの煙が存在する可能性がある場所でプロジェクターを使用または保管しないでください。プロジェクターの性能が低下する可能性があります。*
- *プロジェクターは正しい向きで設置してください。標準的な設置方法でなければ、プロジェクターの性能が低下する可能性があります。*
- *電源ストリップ、および/または、サージプロテクターを使用してください。停電または電圧低下により装置が破損する恐れがあります。*

レンズの清掃

- レンズを清掃する前に、必ず、プロジェクターの電源を切り、電源コードを切断し、完全に冷却させてください。
- 埃を取り除くために、圧縮空気タンクを使用してください。
- レンズ清掃用の特殊布を使用し、レンズを優しく拭いてください。レンズを指で触らないでください。
- レンズの清掃に、アルカリ性/酸性の溶剤またはアルコールなどの揮発性の溶剤を使用しないでください。清掃処理により、レンズが損傷した場合、保証の対象とはなりません。

警告：レンズから埃または汚れを取り除くために、可燃性ガスを含むスプレーを使用しないでください。プロジェクター内部の過度の熱により、火災が発生する可能性があります。

警告：レンズ表面のフィルムが剥がれる可能性がありますので、プロジェクターがウォームアップ中は、レンズを清掃しないでください。

警告：硬い物でレンズを拭いたり、叩いたりしないでください。

3D 安全情報　※

推奨されるすべての警告と安全上の注意に従った上で、ご自身またはお子様が 3D 機能をご利用ください。

警告

幼児及び 10 代の方は、3D 鑑賞に関連する健康問題により影響を受けやすくなっています。よって、これらの画像を見る際は十分にご注意ください。

光感受性発作の警告及びその他健康面におけるリスク

- プロジェクターの画像やビデオゲームに含まれる点滅画面やライトに曝されると、一部視聴者はてんかん症状や発作を起こす恐れがあります。そのような症状が発生した場合又はてんかんや発作の家族歴がある場合、3D 機能をご使用いただく前に、医療専門家にご相談ください。
- てんかんや発作の個人歴又は家族歴がない方でも、光感受性てんかん発作を引き起こす診断未確定症状が現れる場合があります。
- 妊婦、高齢者、重症患者、不眠症患者やアルコール依存症の方は、当装置の 3D 機能のご使用はお控えください。
- 以下の症状を経験されたことがある方は、ただちに 3D 画像の鑑賞を中止し、医療専門家にお問い合わせください: (1) 視覚の変化、(2) 軽い頭痛、(3) 眩暈、(4) 眼や筋肉の引き攣りといった無意識の動作、(5) 混乱状態、(6) 吐き気、(7) 意識喪失、(8) 痙攣、(9) 急激な腹痛、(10) 見当識障害。幼児及び 10 代の方は大人よりこれらの症状が出やすいとされています。お子様については、 これらの症状が出ていないか注意してください。
- 3D 投写の鑑賞はまた、吐き気、知覚後遺症、見当識障害、眼精疲労、姿勢の安定性減少をもたらす恐れがあります。ユーザーはこれらの影響の可能性を削減するために、頻繁に休憩を取ることが推奨されます。目に疲労や乾き、又は上記のどれか症状が出現した場合、ただちに当機器のご使用を中止いただき、症状が落ち着いてから最低 30 分はご使用をお控えください。
- 長時間、かなり画面の近くに座って 3D 投写を鑑賞すると、視力にダメージを与える恐れがあります。理想的な鑑賞距離は、画面高さの最低 3 倍の距離となっています。また視聴者の目の位置が画面の高さにあることが推奨されます。
- 3D 眼鏡をかけながらの長時間にわたる 3D 投写の鑑賞は、頭痛や疲労を引き起こす恐れがあります。頭痛、疲労や眩暈を感じた場合、3D 投写の鑑賞を中止し、休憩してください。
- 3D投写の鑑賞以外の目的での 3D 眼鏡のご使用はお止めください。
- その他目的 (通常の眼鏡、サングラス、保護ゴーグルなど) のための 3D 眼鏡の着用は、肉体的傷害を引き起こしたり、視力の低下をもたらす恐れがあります。
- 3D 投写の鑑賞は、一部視聴者において見当識障害を引き起こす恐れがあります。よって、広い階段の吹き抜け、ケーブル、バルコニーやその他転んだり、衝突したり、倒れたり、壊れたり、落ちたりする可能性がある場所の傍に 3D プロジェクターを設置しないでください。

※　日本モデルは3Dに対応していません。

著作権

この出版物は、すべての写真、イラスト、ソフトウェアを含め、著作権に関する国際法の下で保護され、無断複写・転載が禁じられます。このマニュアルもこの中に含まれるいかなる素材も作者の書面による同意なしで複製することはできません。

© 著作権 2020

免責条項

本書の情報は予告なしで変更されることがあります。製造者は本書の内容についていかなる表明も保証もせず、特に、商品性または特定目的の適合性について、いかなる暗黙的保証も否定します。製造者は本出版物を改訂し、その内容を折に触れて変更する権利を留保します。ここで、かかる改訂または変更を通知する義務は製造者にないものとします。

商標認識

Kensington は ACCO Brand Corporation の米国登録商標であり、世界中の他国で登録され、あるいは登録申請中になっています。

HDMI、HDMI ロゴ、High-Definition Multimedia Interface は米国とその他の国における HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。

DLP®、DLP Link および DLP ロゴは、Texas Instruments の登録商標です。BrilliantColor™ は、Texas Instruments の商標です。

MHL (Mobile High-Definition Link) および MHL ロゴは、MHL Licensing, LLC の商標または登録商標です。

本書に記載されているその他すべての製品名はそれぞれの所有者の財産であり、
認知されています。

FCC

本装置は、FCC 基準パート 15 に準ずる Class B のデジタル電子機器の制限事項に準拠しています。これらの制限は、居住地において有害な干渉からの適切な保護を提供するために設定されております。本装置は高周波エネルギーを生成し使用しています。また、高周波エネルギーを放射する可能性があるため、指示に従って正しく設置しなかった場合は、無線通信に障害を及ぼす可能性があります。

しかし、干渉が個々の設置において発生しないと保証することはできません。本装置の電源を切ったり入れたりすることにより、本装置がラジオやテレビ受信に有害な干渉をもたらしていることが確認できる場合は、下記の手順で改善を試みてください:

- 受信アンテナの再設定又は移動。
- 本装置と受信機の距離を離す。
- 受信機の接続とは異なる回路のコンセントを本装置へ接続。
- 販売代理店又は資格のある無線/テレビ技術者へのお問い合わせ。

注意: シールドケーブル

その他コンピューターデバイスへの全ての接続は、FCC 規則を遵守するために、シールドケーブルを必ず使用して行ってください。

注意事項

本装置に対しメーカーが明確に認定していない変更や修正を加えると、連邦通信委員会で許可されているユーザー権限が無効になることがあります。

運転状況

本装置は、FCC 規則パート 15 に準拠しています。運転は、以下の 2 つの状況を前提とします:

1. 本装置は、有害な干渉を引き起こしてはならない。
2. 本装置は、不要な作動を引き起こす恐れのある干渉を含む干渉受信を許容する。

注意: カナダにお住まいのユーザーへ

当 Class B デジタル機器は、カナダ ICES-003 に準拠しています。

Remarque à l'intention des utilisateurs canadiens

Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

EU 諸国への適合宣言

- EMC 指令 2014/30/EC (修正案を含む)
- 低電圧指令 2014/35/EC
- RED 2014/53/EU (製品に RF 機能が装備されている場合)

WEEE

廃棄物についての指示

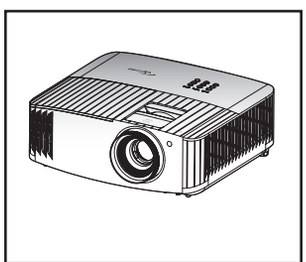
当機器を処分する際、電子装置はゴミ箱に捨てないでください。汚染を最小限に抑え、最大限グローバルな環境を保護するために、リサイクルください。

はじめに

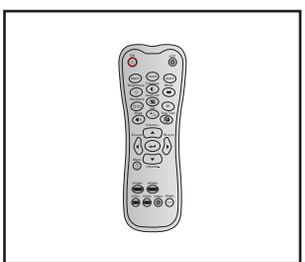
パッケージの内容

慎重に箱から取り出し、下の標準付属品に記載されている品目が揃っていることを確認してください。

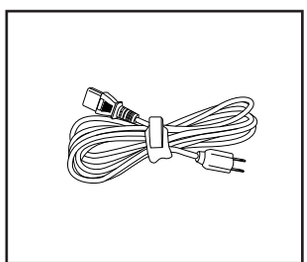
標準アクセサリー



プロジェクター



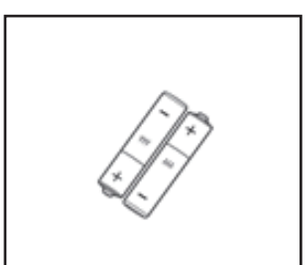
リモコン



電源ケーブル

☑ クイックスタート
ユーザーマニュアル

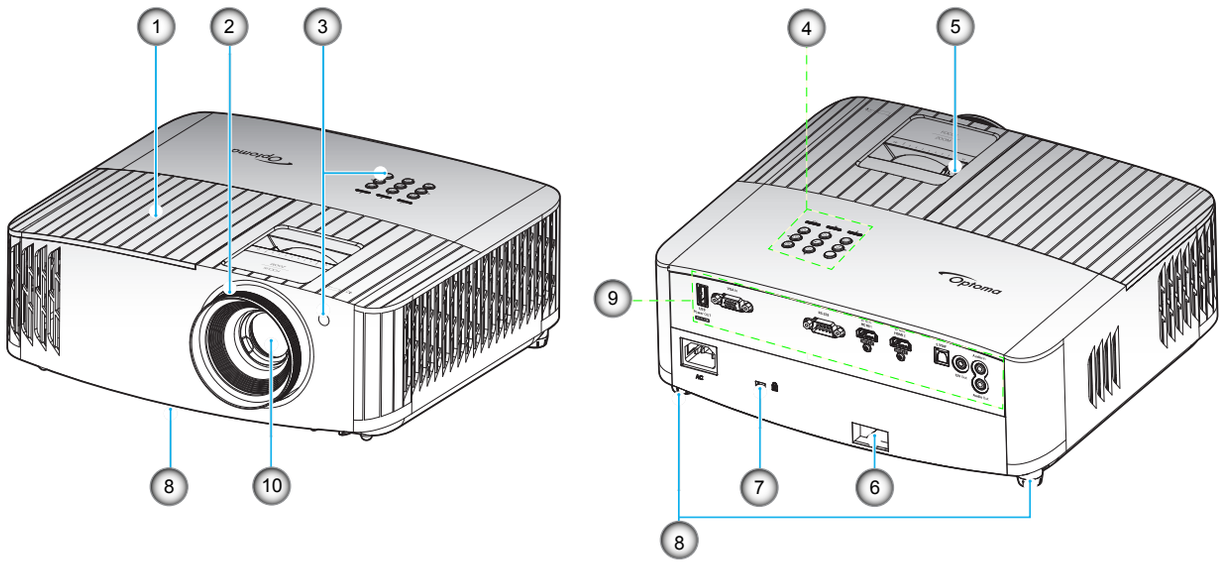
クイックスタート
ユーザーマニュアル

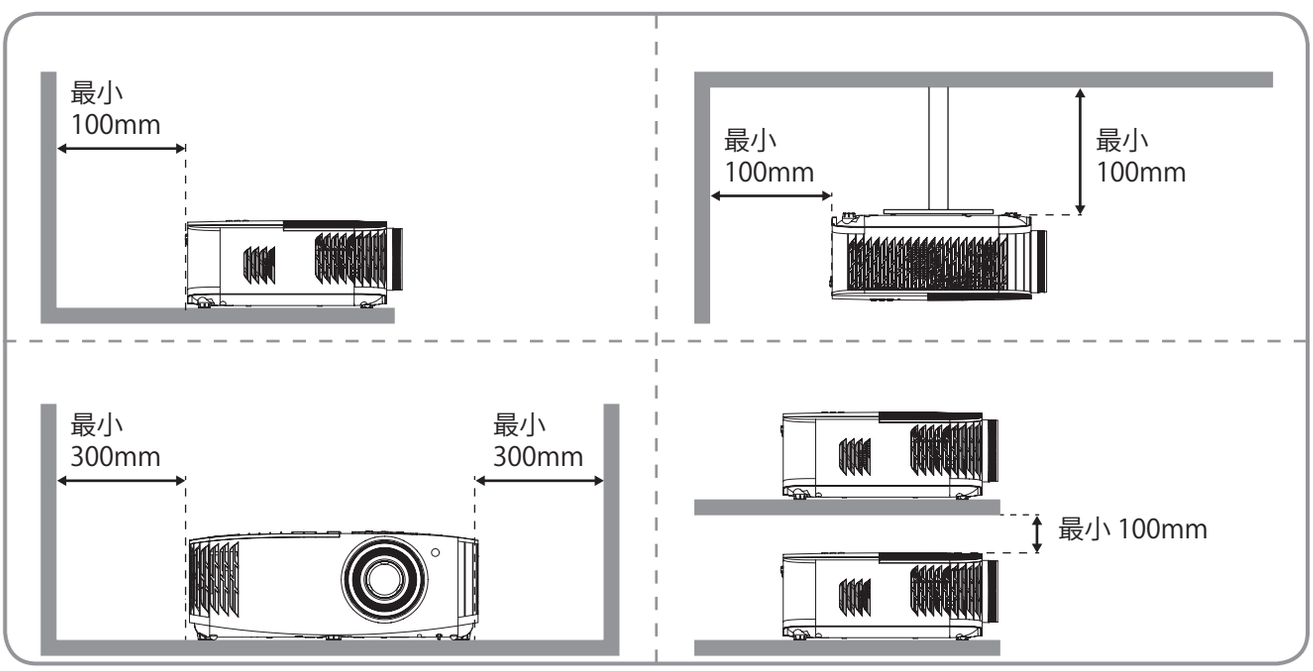


単4電池（2個）

はじめに

製品の各部名称





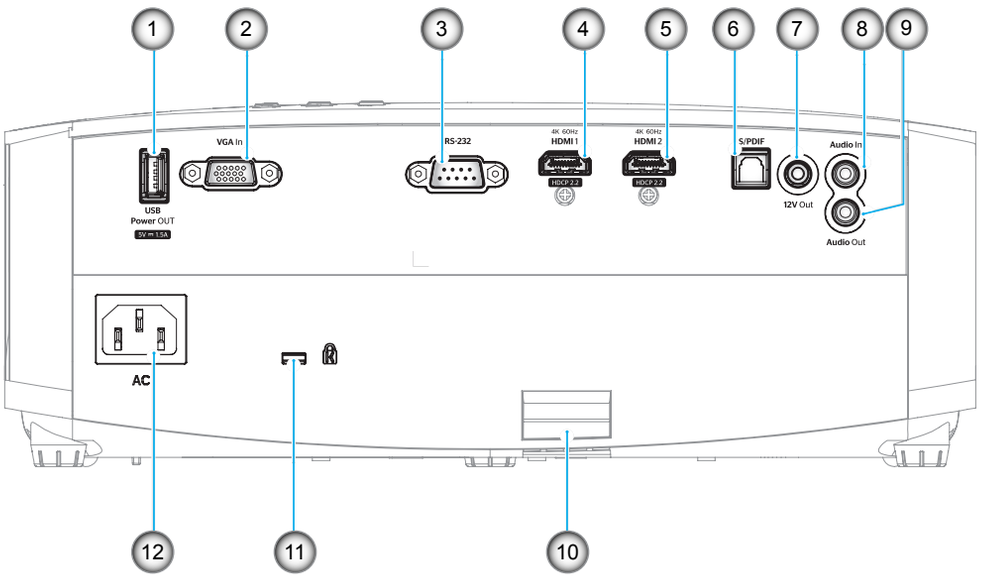
注記：

- *プロジェクターの吸気口または排気口を塞がないでください。*
- *プロジェクターを閉じられた空間で操作するときは、吸気口および排気口を少なくとも 30 cm 隙間をあけてください。*

番号	アイテム	番号	アイテム
1.	ランプカバー	6.	セキュリティー バー
2.	フォーカス リング	7.	Kensington™ ロック ポート
3.	IR レシーバー (前方および上部)	8.	チルト調整フット
4.	キーパッド	9.	入/出力
5.	ズームレバー	10.	レンズ

はじめに

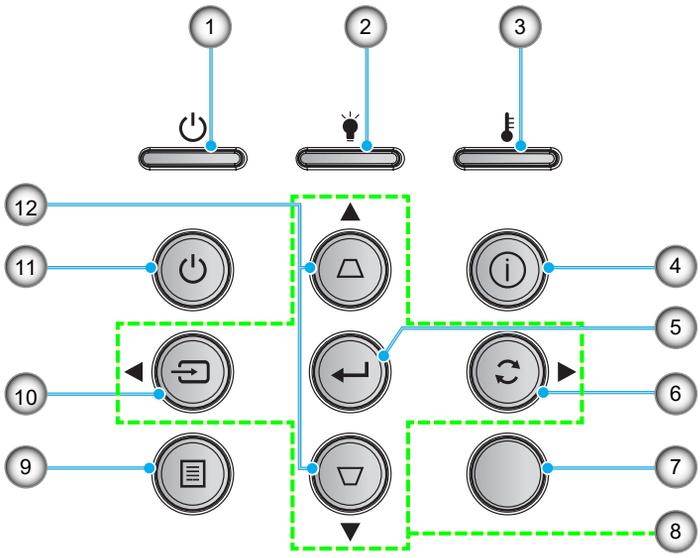
接続



番号	項目	番号	項目
1.	USB 出力 (5V　1.5A) コネクター	7.	12V 出力端子
2.	VGA 入力コネクター	8.	オーディオ入力コネクター
3.	RS-232 コネクター	9.	オーディオ出力端子
4.	HDMI 1 端子 (4K 60Hz)	10.	セキュリティーバー
5.	HDMI 2 端子 (4K 60Hz)	11.	Kensington™ ロック ポート
6.	S/PDIF 端子	12.	電源ソケット

はじめに

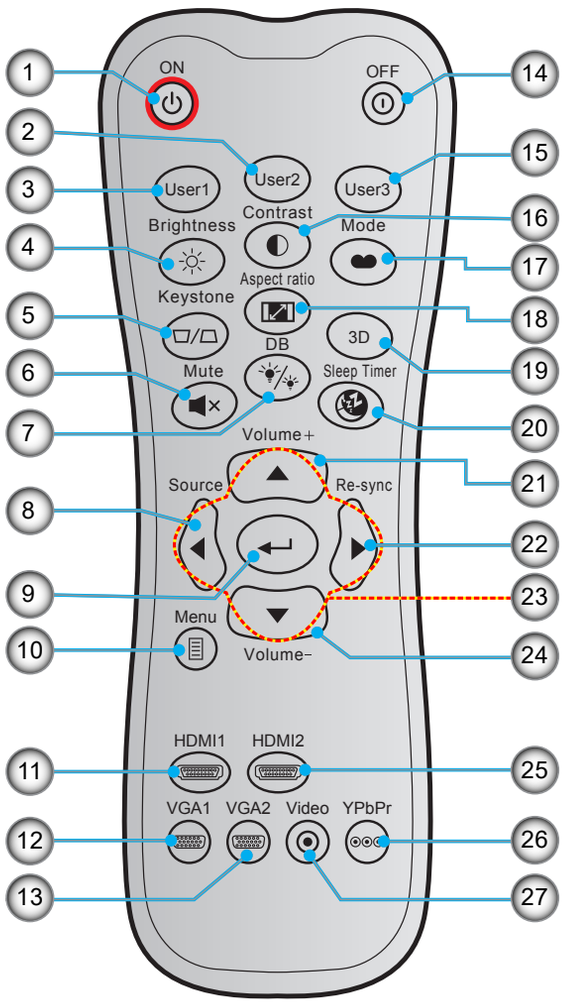
キーパッド



番号	アイテム	番号	アイテム
1.	オン/スタンバイ LED	7.	IR レシーバー
2.	ランプ LED	8.	4 方向選択キー
3.	温度 LED	9.	メニュー
4.	情報	10.	ソース
5.	入力	11.	電源スイッチ
6.	再同期	12.	キーストン補正

はじめに

リモコン



番号	アイテム	番号	アイテム
1.	パワーオン	15.	ユーザー 3
2.	ユーザー 2	16.	コントラスト
3.	ユーザー 1	17.	ディスプレーモード
4.	輝度	18.	アスペクト比
5.	キーストン	19.	3D モード
6.	ミュート	20.	スリープタイマー
7.	DB (Dynamic Black)	21.	音量 +
8.	ソース	22.	再同期
9.	入力	23.	4 方向選択キー
10.	メニュー	24.	音量 -
11.	HDMI1	25.	HDMI2
12.	VGA1	26.	YPbPr (未サポート)
13.	VGA2 (未サポート)	27.	Video (未サポート)
14.	パワーオフ		

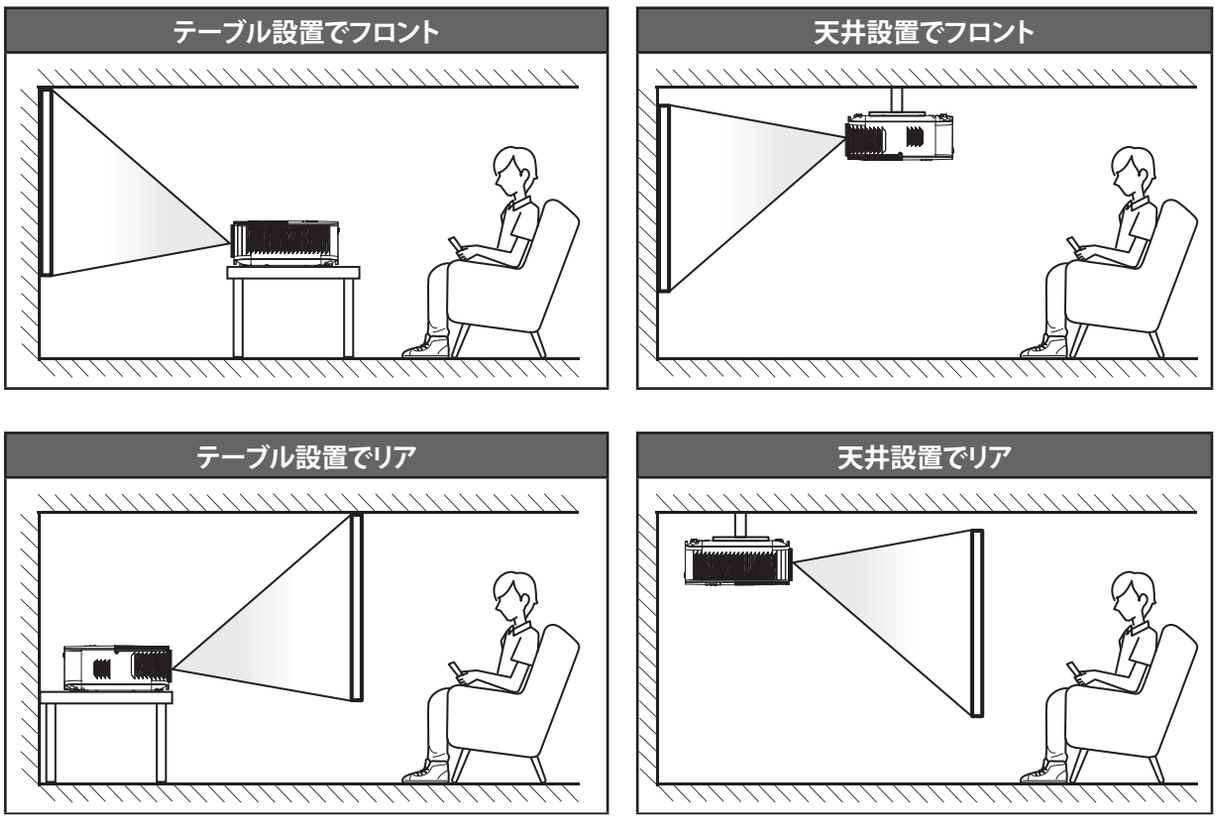
注記： *地域によっては、これらの特長をサポートしていないモデルの機能がない場合があります。*

設定と設置

プロジェクターを設置する

このプロジェクターは設計上、4 つの設置方法のいずれかを選んで設置できます。

部屋の設計や個人の好みに合わせて設置方法を決めてください。スクリーンの大きさと位置、コンセントの場所、プロジ ェクターとその他の機材の位置と間の距離を考慮します。



プロジェクターは平らな場所に置き、スクリーンに対して 90 度/垂直にします。

- 特定のスクリーンサイズに対してプロジェクターの位置を決定する方法については、*43*ページの距離表を参照してください。
- 特定の距離に対してスクリーンサイズを決定する方法については、*43*ページの距離表を参照してください。

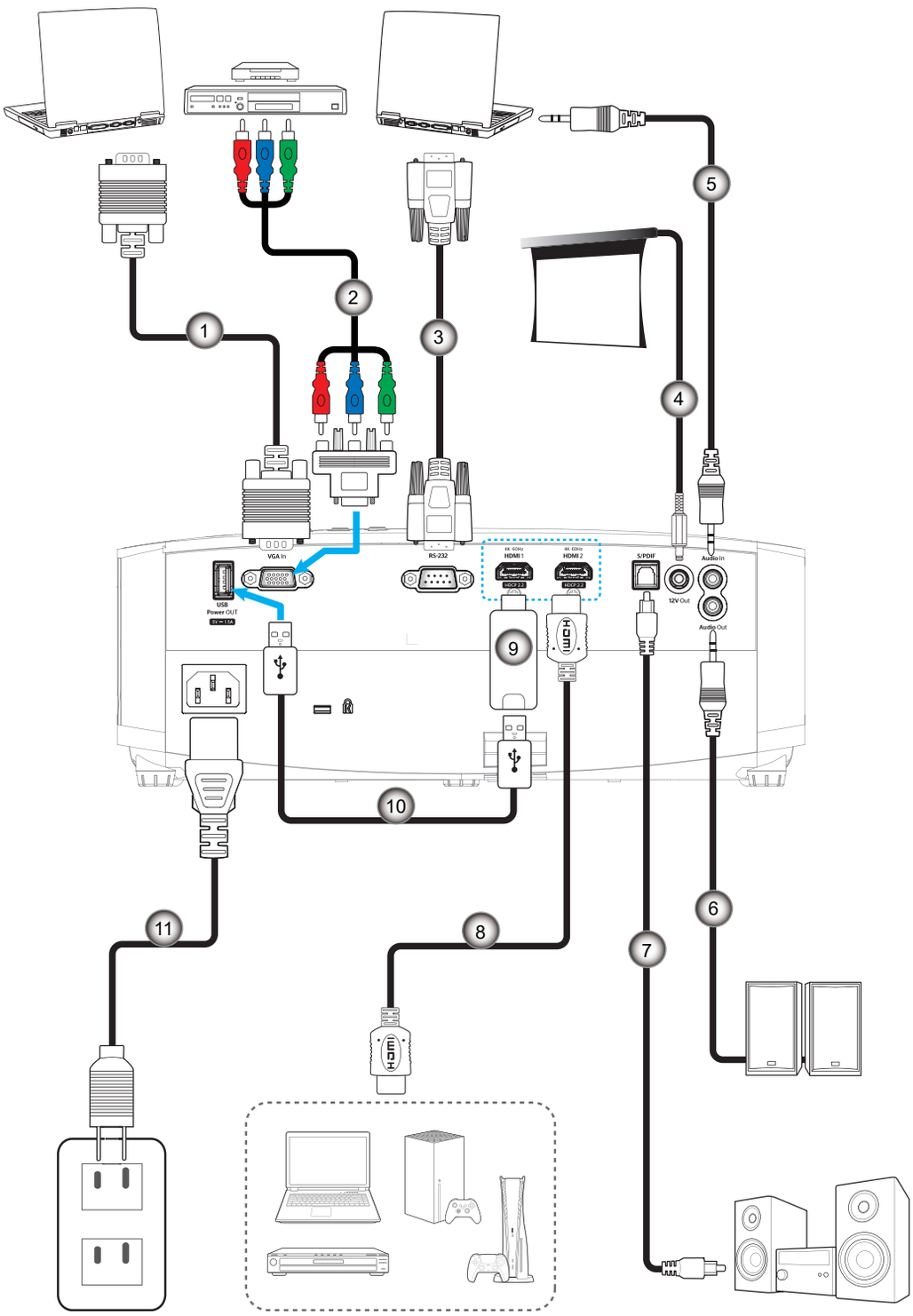
注記： *プロジェクターとスクリーンの間の距離が離れると、投写される画像がそれだけ大きくなり、垂直オフセットも比例して大きくなります。*

重要！

*机上または天井取り付け以外の向きでプロジェクターを操作しないでください。プロジェクターは水平にし、前後または左右に傾けないようにしてください。それ以外の向きは保証を無効にします。また、プロジェクターランプまたはプロジェクター自体の寿命を短くする恐れがあります。非標準設置に関するアドバイスについては、**テクニカルサポートセンター**にお問合せください。*

設定と設置

ソースをプロジェクターに接続する



番号	項目	番号	項目	番号	項目
1.	VGA 入力ケーブル	5.	オーディオ入力ケーブル	9.	HDMI ドングル
2.	RCA コンポーネントケーブル	6.	オーディオ出力ケーブル	10.	USB 電源ケーブル
3.	RS-232 ケーブル	7.	S/PDIF 出力ケーブル	11.	電源コード
4.	12V DC ジャック	8.	HDMI ケーブル		

注記： *最良の画質を確保し、接続エラーを防止するために、最大 5 メートルの高速またはプレミアム認定 HDMI ケーブルを使用してください。*

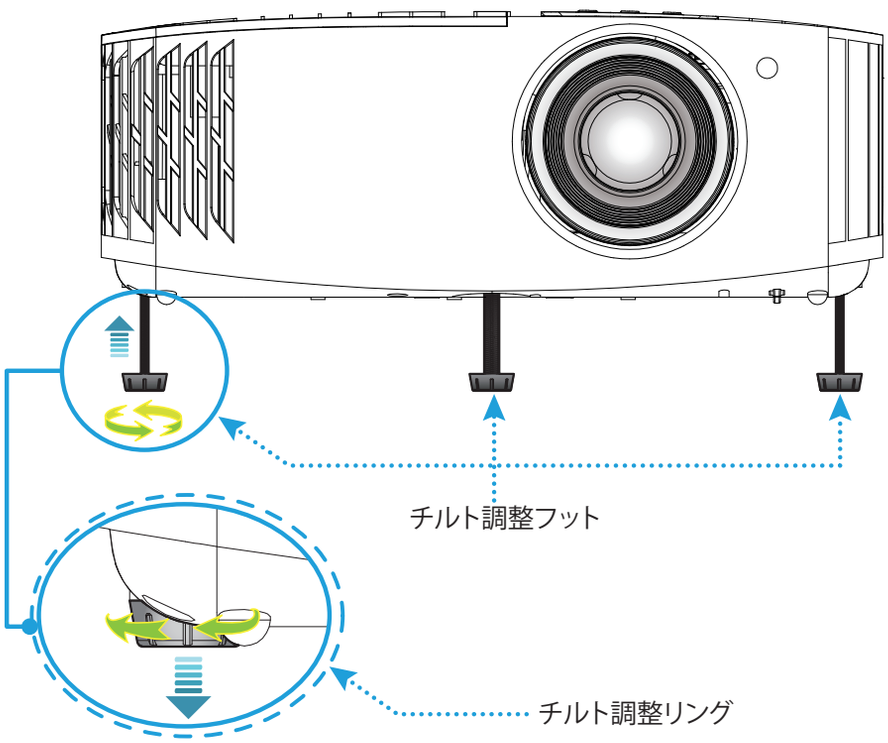
設定と設置

投写画像の調整

画像の高さ

本プロジェクターには、投写映像の高さを調整するためのチルト調整フットがあります。

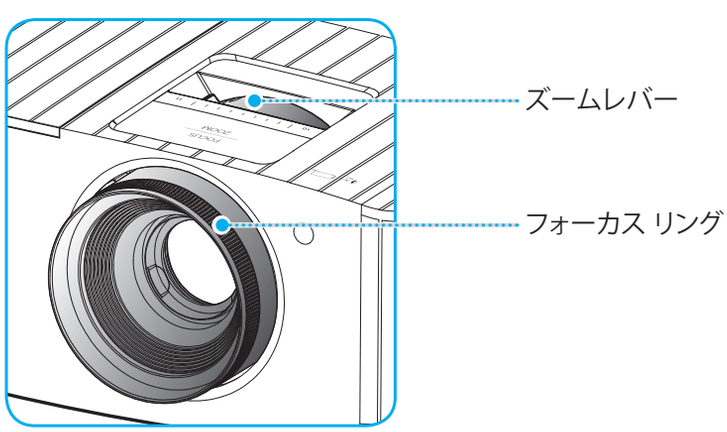
1. プロジェクターの底面の、変更したい調整フットを探します。
2. 調整フットを時計方向/反時計方向に回してプロジェクターを上げ下げします。



ズームとフォーカス

画像の大きさを調整するには、ズームレバーを時計方向または反時計方向に回し、投写される画像を大きくまたは小さくします。

フォーカスを調整するには、画像が鮮明になり、文字が読めるようになるまでフォーカスリングを時計方向または反時計方向に回します。



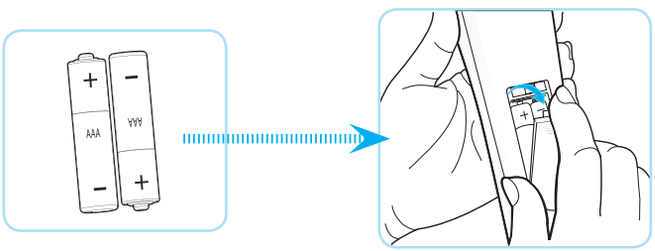
設定と設置

リモコンの準備

電池の取り付け/交換

リモコンには単 4 電池 2 本が付属しています。

1. リモコンの背面にある電池カバーを外します。
2. 図のように単 4 電池をバッテリーコンパートメントに挿入します。
3. リモコンのカバーを戻します。



注記： *交換には同じ電池か同種の電池のみをご利用ください。*

注意事項

電池の使い方が正しくないと、化学物質の漏れや爆発が起こる恐れがあります。必ず以下の指示に従ってください。

- 異なる種類の電池を混在させない。電池の種類によって特性が異なります。
- 古い電池と新しい電池を混在させない。古い電池と新しい電池を混在させると、新しい電池の寿命が短くなったり、古い電池から化学物質漏れが起こる恐れがあります。
- 使い切った電池はすぐに外してください。電池から漏れた化学物質が肌に触れると発疹が出ることがあります。化学物質漏れを発見した場合は、布で拭きとってください。
- 本製品に付属の電池は、保管状態により予想寿命が短いことがあります。
- 長時間リモコンを使用しない場合は、電池を取り外してください。
- 電池を廃棄する際は、必ず関連する地域や国の法律に従ってください。

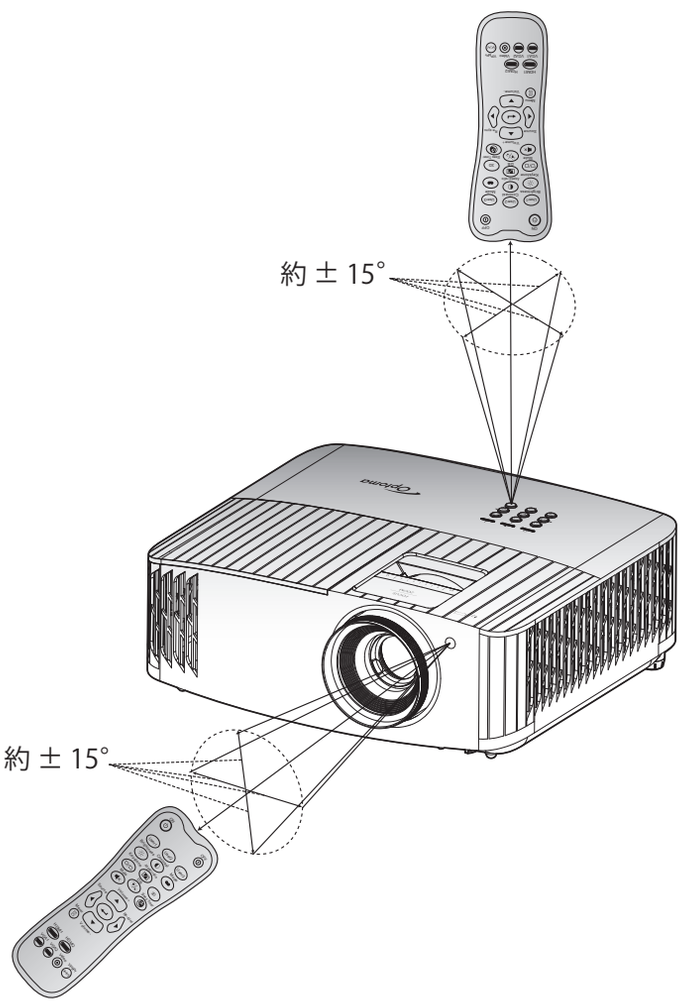
設定と設置

有効範囲

赤外線 (IR) リモコンセンサーはプロジェクターの上面にあります。プロジェクターの IR リモコンセンサーに対して 30 度(水平)または20度(垂直)以内の角度でリモコンを向けると正常に動作します。リモコンとセンサーの間の距離は 7 メートル 以内にする必要があります。

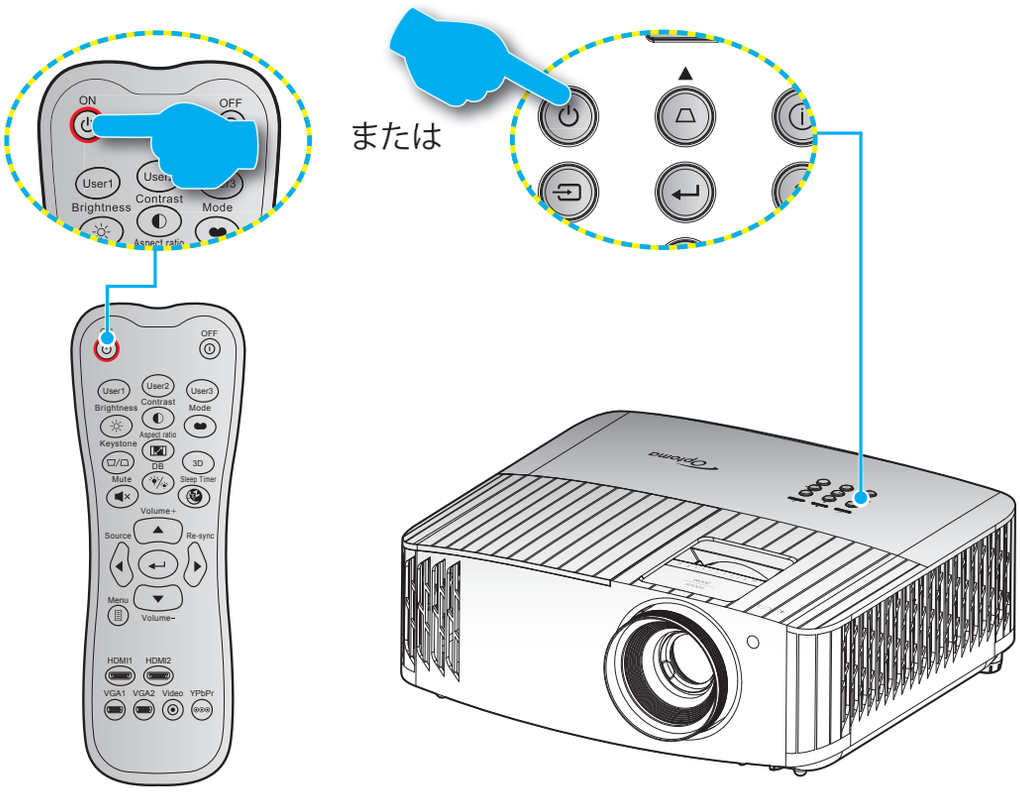
注記： *IR センサーに対して直接リモコンを向ける場合 (0 度の角度)、リモコンとセンサーの間の距離が、10 メートルを超えないようにしてください。*

- リモコンとプロジェクターの IR センサーの間に赤外線ビームを遮断するような障害物がないことを確認します。
- リモコンの IR 伝送装置に太陽や蛍光灯の光を直接当てないでください。
- リモコンは蛍光灯から 2 メートル以上離さないと誤作動が起こることがあります。
- リモコンがインバータータイプの蛍光灯に近いと、動作しないことがあります。
- リモコンとプロジェクターの距離が近いと、リモコンが動作しないことがあります。
- スクリーンに向けるときは、リモコンからスクリーンまでの有効距離が 7 メートル以内であれば、IR ビームが反射してプロジェクターに届きます。ただし、有効範囲はスクリーンによって変わることがあります。



プロジェクターを使用する

プロジェクターの電源を入れる/切る



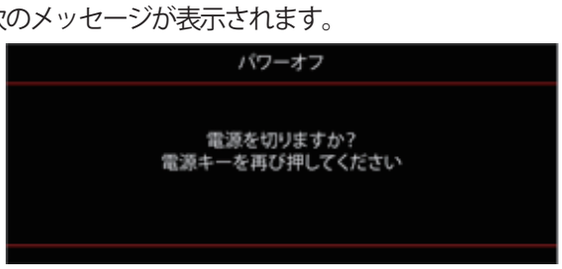
パワーオン

1. 電源コードとシグナル/ソースケーブルをしっかりと接続します。接続が済むと、オン/スタンバイ LED が赤く点灯します。
2. プロジェクターのキーパッドまたはリモコンの [⏻] を押し、プロジェクターの電源を入れます。
3. 起動画面が約 10 秒後に表示され、オン/スタンバイ LED が青色に点滅します。

注記： *初めてプロジェクターの電源を入れると、使用言語、投写方向、その他の設定を選択するように求められます。*

電源オフ

1. プロジェクターのキーパッド[⏻]またはリモコンの[⏻]を押し、プロジェクターの電源を切ります。
2. 次のメッセージが表示されます。



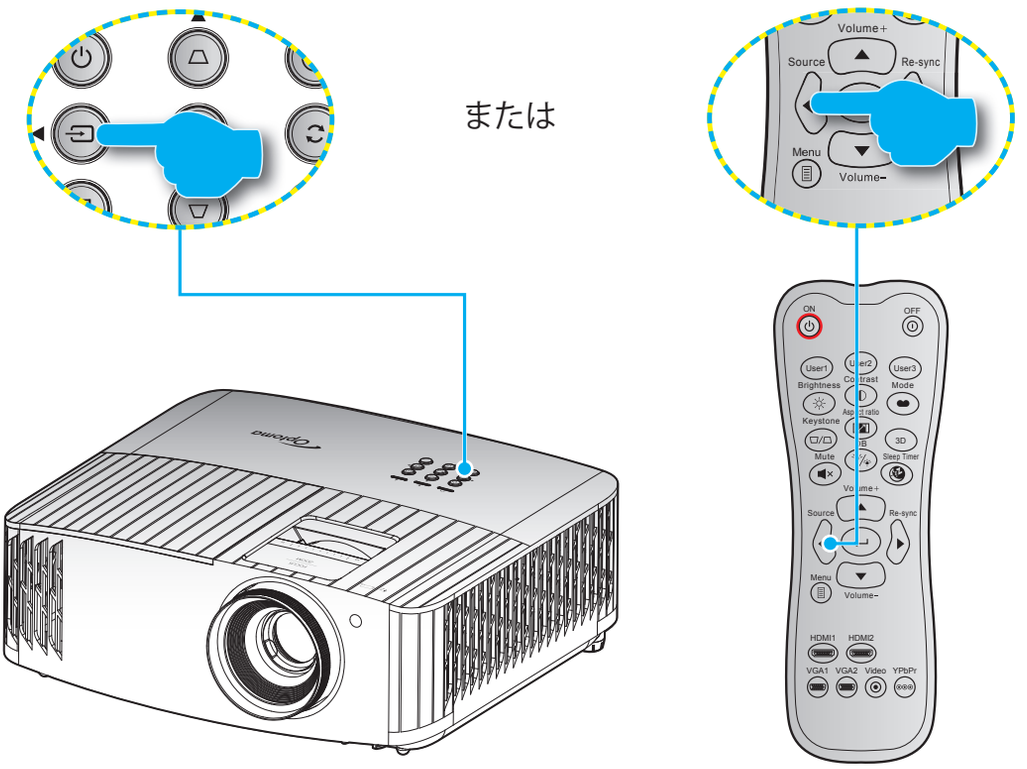
3. [⏻]/[⏻] ボタンを再び押して確認します。ボタンを押さない場合、15秒後にメッセージが消えます。
   2回目に[⏻]/[⏻]を押すと、プロジェクターはシャットダウンします。
4. 冷却ファンは約10秒間作動し続けて冷却を行うと、オン/スタンバイLEDが青に点滅します。オン/スタンバイLEDが赤色に点滅すると、プロジェクターはスタンバイモードに入っています。プロジェクターの電源を再び入れる場合、冷却サイクルを終了し、スタンバイモードに入るまで待つ必要があります。プロジェクターがスタンバイモードに入ったら、[⏻] ボタンを押すだけでプロジェクターの電源が再び入ります。
5. 電源コードをコンセントとプロジェクターから抜きます。

注記：電源を切った直後にプロジェクターの電源を入れる行為は推奨されません。

プロジェクターを使用する

入力ソースを選択する

スクリーンに表示する接続ソース (コンピューター、ノート パソコン、ビデオ プレーヤーなど) の電源を入れます。プロジェクターは、ソースを自動的に検出します。複数のソースが接続されている場合、プロジェクターキーパッドの [⇥] ボタンまたはリモコンの**ソース**ボタンを押し、入力を選択します。

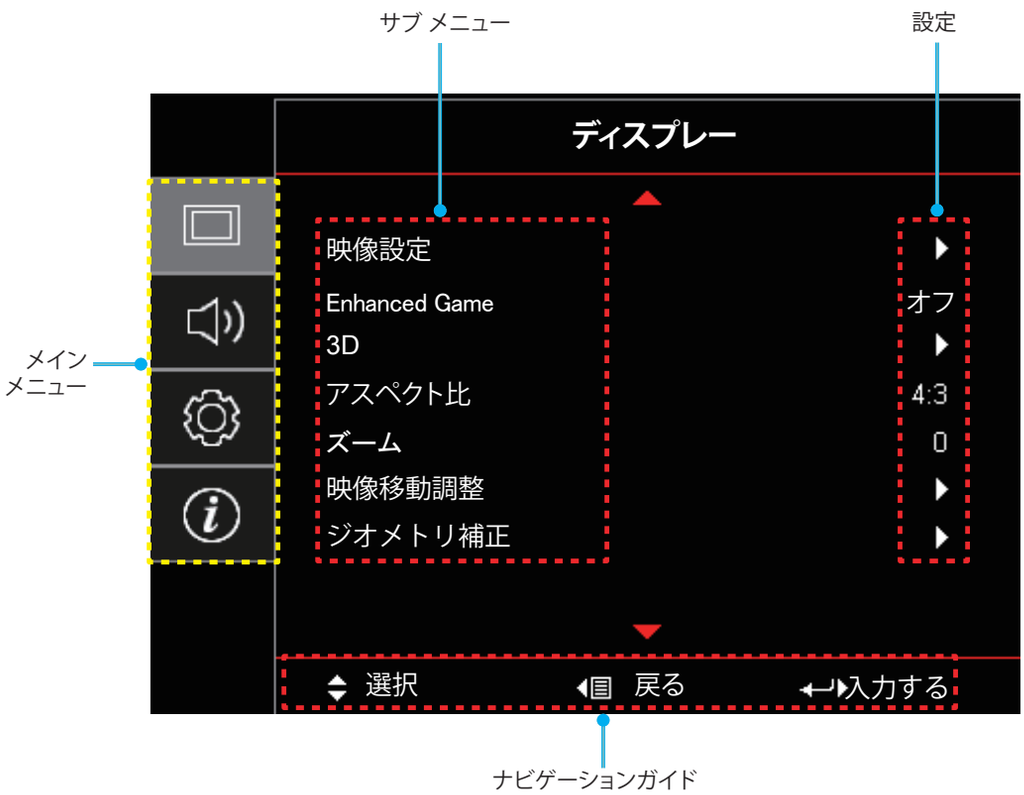


プロジェクターを使用する

メニューナビゲーションと機能

本プロジェクターでは、多言語対応オンスクリーン メニューを使って、画像調整やさまざまな設定の変更を行うことができます。プロジェクターは、ソースを自動的に検出します。

1. OSD メニューを開くには、リモコンまたはプロジェクターのキーパッドの [▤] ボタンを押します。
2. OSD が表示されたら、▲▼ キーを使ってメインメニューの任意の項目を選択します。特定のページを選択し、リモコンまたはプロジェクターのキーパッドの [↵] を押してサブメニューへ進みます。
3. ▲▼ キーを使ってサブメニューで希望のアイテムを選択し、[↵] を押して詳細設定を表示します。◀ ▶キーによって設定を調整します。
4. サブ メニューから次に調整したい項目を選択し、上記手順と同様に設定を調整します。
5. ↵ を押すと設定が確定し、スクリーンはメイン メニューに戻ります。
6. 終了するには、もう一度▤を押します。オンスクリーンメニューが終了し、プロジェクターは自動的に新しい設定を保存します。



プロジェクターを使用する(OSD メニューツリー)

メインメニュー	サブメニュー	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	値
ディスプレー	映像設定	ディスプレーモード			シネマ
					HDR
					HLG
					HDRSIM.
					ゲーム
					リファレンス
					ブライト
					ユーザー
					3D
		壁色補正			オフ[デフォルト]
					黒板
					ライトイエロー
					ライトグリーン
					ライトブルー
					ピンク
					グレー
		ダイナミックレンジ	HDR/HLG		オフ/自動[デフォルト]
			HDRモード		ブライト
					標準[デフォルト]
					フィルム
					Detail
			HLG Picture Mode		標準
			HDR Strength		0～10
		輝度			-50～50
		コントラスト			-50～50
		シャープネス			1～15
		色の濃さ			-50～50
		色あい			-50～50
		ガンマ			フィルム
					ビデオ
					グラフィック
					標準(2.2)
					1.8
					2.0
					2.4
		色設定	BrilliantColor™		1～10
			色温度		D55
					D65
					D75
					D83
					D93
					Native
			カラーマッチング	色の濃さ	赤[デフォルト]
					緑
					青
					シアン
					黄
					マゼンタ
					白

プロジェクターを使用する(OSD メニューツリー)

メインメニュー	サブメニュー	サブメニュー２	サブメニュー３	サブメニュー４	値
ディスプレー	映像設定	色設定	カラーマッチング	色あい	-50～50
				彩度	-50～50
				ゲイン	-50～50
				リセット	キャンセル[デフォルト]/はい
				戻る	
	映像設定	色設定	RGBゲイン/バイアス	赤ゲイン	-50～50
				緑ゲイン	-50～50
				青ゲイン	-50～50
				赤バイアス	-50～50
				緑バイアス	-50～50
				青バイアス	-50～50
				リセット	キャンセル[デフォルト]/はい
				戻る	
			カラースペース[非HDMI入力]		自動[デフォルト]
					RGB
					YUV
			カラースペース[HDMI入力]		自動[デフォルト]
					RGB(0～255)
					RGB(16～235)
					YUV
		信号［VGA信号］	自動		オフ[デフォルト]/オン
			周波数		-10～10(信号に依存)
			位相		0～31(信号に依存)
			水平位置		-5～5(信号に依存)
			垂直位置		-5～5(信号に依存)
			戻る		戻る
		ブライトネスモード			ブライト[デフォルト]
					エコ
					ダイナミック
					エコプラス
		リセット			キャンセル [デフォルト]/オン
	Enhanced Gaming				オフ[デフォルト]/オン
	3D	3Dモード			オフ[デフォルト]/オン
		3D同期反転			オフ[デフォルト]/オン
	アスペクト比				４：３
					１６：９
					２１：９
					３２：９
					LBX
					自動[デフォルト]
	ズーム				-5～25[デフォルト：0]
	映像移動調整	H［映像水平位置］			-100～100[デフォルト:0]
		V［映像垂直位置］			-100～100[デフォルト:0]
	ジオメトリ補正	4コーナー			4コーナー
		水平キーストン			-40～40
		垂直キーストン			-40～40
		リセット			キャンセル[デフォルト] / OK
オーディオ	内蔵スピーカー				オン[デフォルト] /オフ
	ミュート				オフ[デフォルト] /オン
	音量				0～10[デフォルト:5]

プロジェクターを使用する(OSD メニューツリー)

メインメニュー	サブメニュー	サブメニュー２	サブメニュー３	サブメニュー４	値
設定	設置モード				フロント[デフォルト]
					リア
					フロント-上部
					リア-上部
	ランプ設定	ランプ警告			オン[デフォルト]　/オフ
		ランプリセット			キャンセル[デフォルト]/はい
	フィルター設定	エアフィルタ使用時間			(読み取り専用)
		エアフィルタ取付			いいえ[デフォルト]　/はい
		エアフィルタ寿命			オフ
					300時間
					500時間[デフォルト]
					800時間
					1000時間
		エアフィルタ使用時間リセット			キャンセル[デフォルト]/はい
	電源設定	電源検知オートパワーオン			オフ[デフォルト]/オン
		タイマー電源オートパワーオフ			20[分デフォルト]/0～180(5分刻み)
		スリープタイマー（分）	スリープタイマー（分）		0[分デフォルト]～990(30分刻み)
			常にON		いいえ[デフォルト]/はい
	セキュリティー	セキュリティ			オフ[デフォルト]/オン
		セキュリティタイマー			月　/　日　/　時
		パスワード変更			
	テストパターン				緑のグリッド
					マゼンタのグリッド
					白のグリッド
					全白
					オフ
	リモコン設定 [リモコンによる]	リモコン受光設定			オン[デフォルト]/オフ
		ユーザー１ ユーザー２ ユーザー３			テストパターン
					輝度
					コントラスト
					スリープタイマー
					カラーマッチング
					色温度
					ガンマ
					設置モード
					ランプ設定
	プロジェクターID				0～99
	12Vトリガ	12Vトリガ			オフ[デフォルト]/オン
	オプション	言語			English[デフォルト]
					Deutsch
					Français
					Italiano
					Español
					Português
					繁體中文
					简体中文
					日本語
					한국어
					Русский

プロジェクターを使用する(OSD メニューツリー)

メインメニュー	サブメニュー	サブメニュー２	サブメニュー３	サブメニュー４	値
設定	オプション	メニュー設定	メニュー位置		
					［デフォルト］
			メニュータイマー		オフ
					5秒
					10秒[デフォルト]
		オートソース			オフ[デフォルト]/オン
		入力ソース			HDMI1
					HDMI2
					VGA
		高地モード			オフ[デフォルト]/オン
		ディスプレーモードロック			オフ[デフォルト]/オン
		キーパッドロック			オフ[デフォルト]/オン
		信号表示			オフ[デフォルト]/オン
		ロゴ			デフォルト[デフォルト]
					ロゴ無し
		背景色			なし[デフォルト]
					青
					赤
					緑
					グレー
	リセット	OSDをリセット			キャンセル[デフォルト]/OK
		初期状態にリセット			キャンセル[デフォルト]/OK
情報	制御				
	シリアル番号				
	入力源				
	解像度				00x00
	リフレッシュレート				0.00Hz
	ディスプレーモード				
	ランプ使用時間				ブライト
					エコ
					ダイナミック
					エコプラス
					合計
	プロジェクターID				00～99
	エアフィルタ使用時間				
	ブライトネスモード				
	FWバージョン				システム
					MCU

プロジェクターを使用する

ディスプレーメニュー

映像設定メニュー

ディスプレーモード

さまざまな映像タイプに合わせて、いくつかのプリセット設定が用意されています。

- **シネマ**：映画を見るために最適な色を提供します。
- **HDR：**ハイダイナミックレンジ (HDR) コンテンツを復号し、表示し、REC.2020 色範囲で濃い黒、明るい白、映画のように鮮やかな色を再現します。このモードは、HDR が ON に設定されている場合、自動的に有効になります (HDR コンテンツがプロジェクターに送信されます – 4K UHD Blu-ray、1080p/4K UHD HDRゲーム、4K UHD ストリーミングビデオ)。HDR モードが有効なとき、他の表示モード (映画や参照など) は選択できません。HDR は、他の表示モードの色パフォーマンスを超える、非常に精密な色を再現するからです。
- **HLG：**Hybrid Log コンテンツを含む HDR シアターの場合。
- **HDR SIM.：**ハイダイナミックレンジ (HDR) をシミュレートし、非 HDR コンテンツの画質を上げます。このモードを選択すると、非 HDR コンテンツ (720p および 1080p ブロードキャスト/ケーブル TV、1080p Blu-ray、非 HDR ゲームなど) のガンマ、コントラスト、彩度が高まります。このモードは HDR 以外のコンテンツでのみ利用できます。
- **ゲーム：**ビデオゲームを楽しむために、このモードを選択して、明るさを増やし、応答時間レベルを上げます。
- **リファレンス：**このモードは、映画監督が意図したように、画像をできるだけアップにして再生することを目的としています。カラー、色温度、コントラスト、γ 設定はすべて標準の参照レベルに設定されます。動画を見るにはこのモードを選択します。
- **ブライト：**PC入力に対する最大輝度。
- **ユーザー：** ユーザー設定を保存します。
- **3D：**3D 効果を体験するには、3D 眼鏡を用意する必要があります。ご使用の PC/ポータブル機器が 120Hz 信号出力クワッドバッファ対応グラフィックカードを装備し、3D プレーヤーがインストールされていることをご確認ください。

壁色補正

この機能を利用し、壁の色に合わせてスクリーンイメージを最適化します。オフ、黒板、ライトイエロー、ライトグリーン、ライトブルー、ピンク、グレーから選択します。

ダイナミックレンジ

4K Blu-ray プレーヤーおよびストリーミングデバイスからビデオを表示するとき、高ダイナミック範囲 (HDR) 設定およびその効果を構成します。

注記： *VGA はダイナミックレンジをサポートしていません。*

➤ **HDR/HLG**

- **オフ：**HDR/HLG 処理をオフに切り替えます。オフに設定すると、プロジェクターは HDR/HLG コンテンツを復号しません。
- **自動：**HDR 信号を自動検出します。

➤ **HDRモード**

- **ブライト：**このモードを選択すると、より飽和した色が再現されます。
- **標準：**このモードを選択すると、色調の暖かさと冷たさのバランスが取れた、自然な色を再現します。

- **フィルム:** このモードを選択すると、細部が改善され、画像が鮮明になります。
- **詳細:** 最高のカラーマッチングを実現するために、信号は OETF 変換から提供されます。

➤ **HLG 画像モード**

- **ブライト:** このモードを選択すると、より飽和した色が再現されます。
- **標準:** このモードを選択すると、色調の暖かさと冷たさのバランスが取れた、自然な色を再現します。
- **フィルム:** このモードを選択すると、細部が改善され、画像が鮮明になります。
- **詳細:** 最高のカラーマッチングを実現するために、信号は OETF 変換から提供されます。

➤ **HDR 強度**

- HDR レベルを選択します。

輝度

画像の輝度を調整します。

コントラスト

コントラストは、画像や画像の最暗部 (黒) と最明部 (白) の差の度合いを調整します。

シャープネス

画像のシャープネスを調整します。

色の濃さ

ビデオ画像を、白黒から完全飽和色まで調整します。

色あい

赤と緑のカラーバランスを調整します。

ガンマ

γ カーブタイプを設定します。初期セットアップと微調整が完了したら、γ 調整ステップを利用して画像出力を最適化します。

- **フィルム**: ホーム シアター用。
- **ビデオ**:ビデオまたは TV ソース用。
- **グラフィック**:PC/フォトソース用。
- **標準(2.2):**標準化された設定用。
- **1.8 / 2.0 / 2.4:**特定の PC/フォトソース用。
- **3D:**3D 効果を体験するには、3D 眼鏡を用意する必要があります。ご使用の PC/ポータブル機器が 120Hz 信号出力クワッドバッファ対応グラフィックカードを装備し、3D プレーヤーがインストールされていることをご確認ください。

注記: *これらのオプションは、3D モード機能が無効の場合にのみ使用できます。3D モードでは、ガンマ設定に対して、"3D" のみを選択できます。*

色設定

色設定を行います。

- **BrilliantColor™:**新しいカラー処理アルゴリズムとエンハンスメントを利用して高い輝度を可能にしながら、画像に真の鮮やかなカラーを実現します。
- **色温度**: D55、D65、D75、D83、D93、または、Nativeから色温度を選択します。
- **カラーマッチング:** 次のオプションを選択します:
  – 色: 画像の赤 (R)、緑 (G)、青 (B)、シアン (C)、黄 (Y)、マゼンタ (M)、白 (W) レベルを調整します。

– 色合い: 赤と緑のカラーバランスを調整します。
– 彩度: ビデオ画像を、白黒から完全飽和色まで調整します。
– ゲイン: 画像の明るさを調整します。
– リセット：カラーマッチングを工場出荷時デフォルト設定に戻します。
– 終了：[カラーマッチング] メニューを終了します。

˝ **RGBゲイン/バイアス:** この設定でイメージの輝度 (ゲイン) とコントラスト (バイアス) を構成できます。
– リセット：RGB ゲイン/バイアスを工場出荷時デフォルト設定に戻しま
– す。終了：[RGBゲイン/バイアス] メニューを終了します。

- **カラースペース(非 HDMI 入力のみ):** 以下から適切なカラーマトリックスタイプを選択します: 自動、RGB、またはYUV。
- **カラースペース (HDMI 入力のみ):** 以下から適切なカラーマトリックスタイプを選択します: 自動、RGB (0 ～ 255)、RGB (16 ～ 235)、YUV。

信号

信号オプションを調整します。

- **自動**：信号を自動的に設定します (周波数と位相アイテムはグレー表示になります)。自動が無効になっている場合、設定を手動で調整し保存できるように周波数と位相アイテムが表示されます。
- **周波数**：ディスプレイデータ周波数を変更して、コンピューターのグラフィックカード周波数に適合させます。画像が垂直方向でちらついて見える場合のみ、この機能をお使いください。
- **位相**：ディスプレイの信号タイミングとグラフィックカードを同期化します。画像が乱れたりちらついたりする場合は、この機能を使って修正します。
- **水平位置**：画像の水平位置を調整します。
- **垂直位置**：画像の垂直位置を調整します。
- **終了**：[信号] メニューを終了します。

注記： *このメニューは、入力ソースが、RGB/コンポーネントである場合のみ利用可能です。*

ブライトネスモード

ブライトネスモードの設定を調整します。

- **ブライト**: [ブライト] を選択すると明るさが増します。
- **エコ**: [エコ] を選択するとプロジェクターランプの光量を減らして電源消費量を少なくし、寿命を延長することができます。
- **ダイナミック**: 「ダイナミック」を選択すると、コンテンツの輝度レベルを基にランプが薄暗くなるとともに、ランプの消費電力を動的に 100% ～ 30% の間で調整します。これにより、ランプの寿命が長くなります。
- **エコプラス**: 「エコプラス」モードがアクティブになっているとき、コンテンツの輝度レベルが自動的に検出され、未使用時におけるランプの消費電力を大幅に (最大 70%) 削減します。

リセット

色設定を工場出荷時デフォルト設定に戻します。

Enhanced Gamingメニュー

ゲーム中にこの機能を有効にして、応答時間 (入力待機時間) を 4.2 ms に低減します。

注記：

- *1080p 240Hz 信号の場合のみ。*
- *信号による入力ラグは、次の表に記載する通りです。*
- *表の値は若干変動する場合があります。*

4K 60Hz	1080P 60Hz	1080P 120Hz	1080P 240Hz
16.7 ms	16.7 ms	8.9 ms	4.2 ms

- *「Enhanced Gaming」モードが有効になっている場合、3D、アスペクト比、ズーム、映像移動調整 および幾何補正 機能は自動的に無効になります。予めご了承ください。「Enhanced Gaming」モードを無効にすると、これらの機能は再び有効になります。*

3D メニュー

3D モード

このオプションを使って、3D モード機能を有効/無効にします。

3D同期反転

このオプションを使って、3D 同期反転機能を有効/無効にします。

アスペクト比メニュー

次のオプションから、表示される画像のアスペクト比を選択します:

- **4:3：** このフォーマットは、4:3 入力ソース用です。
- **16:9/21:9/32:9：**ワイド スクリーン テレビのために用意される高画質のHDTVやDVDのような 16:9/21:9/32:9 入力用です。
- **LBX：** 16x9 ではないレターボックスソースを投影する場合や、外部 16x9 レンズを使用して画像を 2.35:1 アスペクト比で最大解像度により投影する場合に選択します。
- **自動**: 適切なディスプレイフォーマットを自動的に選択します。

注記：

- *LBX モードに関する詳細情報:*
  - *一部のレターボックスフォーマット DVD には、16x9 TV のために用意されていないものもあります。この場合、16:9 モードのイメージは正しく表示されません。この場合、4:3 モードを使って DVD を表示してみてください。コンテンツが 4:3 ではない場合、16:9 ディスプレイの画像の周りに黒いバーが表示されます。このタイプのコンテンツの場合、LBX モードを使って 16:9 ディスプレイに画像を合わせることができます。*
  - *外部アナモルフィックレンズを使用する場合、この LBX モードによりアナモフィックワイドをサポートする 2.35:1 コンテンツ (アナモフィック DVD と HDTV フィルムソースを含む) を視聴することも可能で、ワイド 2.35:1 画像では 16x9 ディスプレイに対して機能強化されています。こうすれば黒いバーは表示されなくなります。ランプ電源と垂直方向の解像度がフル活用されます。*

プロジェクターを使用する

4K UHD スケーリングテーブル:

16 : 9 画面	480i/p	576i/p	720p	1080i/p	2160p
4x3	2880 x 2160 に調整します。				
16x9	3840 x 2160 に調整します。				
LBX	中央の 3840 x 1620 画像を取得し、その後、3840 x 2160 にサイズ変更して表示します。				
ネイティブ	1:1 中央にマッピング。 サイズ変更は行われません。表示される解像度は、入力ソースに依存します。				
自動	- ソースが 4:3 である場合、画面タイプは自動的に 2880 x 2160 にサイズ変更されます。 - ソースが 16:9 である場合、画面タイプは自動的に 3840 x 2160 にサイズ変更されます。 - ソースが 15:9 である場合、画面タイプは自動的に 3600 x 2160 にサイズ変更されます。 - ソースが 16:10 である場合、画面タイプは自動的に 3456 x 2160 にサイズ変更されます。				

自動マッピングルール:

	入力解像度		自動/拡大縮小	
	水平解像度	垂直解像度	3840	2160
4:3	800	600	2880	2160
	1024	768	2880	2160
	1280	1024	2880	2160
	1400	1050	2880	2160
	1600	1200	2880	2160
ワイド ラップトップ	1280	720	3840	2160
	1280	768	3600	2160
	1280	800	3456	2160
SDTV	720	576	2700	2160
	720	480	3240	2160
HDTV	1280	720	3840	2160
	1920	1080	3840	2160

ズームメニュー

スクリーンに投写される画像を縮小または拡大するために使用します。

イメージシフトメニュー

投写される画像位置を水平 (H) または垂直 (V) に調整します。

注記： *水平および垂直キーストンを調整するとき、画像サイズは若干縮小されます。*

ジオメトリ補正メニュー

- **4コーナー：**4 つのコーナーのそれぞれの x 位置と y 位置を移動することによって、定義された領域に収まるように画像を絞り込みます。
  注記： *4コーナー を調整中、ズーム、アスペクト比、および 映像移動調整 メニューは無効になっています。ズーム、アスペクト比、および映像移動調整を有効にするには、4コーナー設定を工場出荷時デフォルト設定にリセットします。*

- **水平キーストン：**画像の歪みを水平方向に調整し、正方形の画像を作成します。水平キーストンは、画像の左右の境界の長さが等しくないキーストン画像の形状を修正するために使用されます。これは、水平軸上アプリケーションでの使用を目的としています。
- **垂直キーストン：**画像の歪みを垂直方向に調整し、正方形の画像を作成します。垂直キーストンは、上下が片側に傾いているキーストン画像の形状を修正するために使用されます。これは、垂直軸上アプリケーションでの使用を目的としています。
- **リセット：**ジオメトリ補正を工場出荷時デフォルト設定に戻します。

オーディオメニュー

内蔵スピーカー

内蔵スピーカーの [オン] または [オフ] を切り替えるために、このオプションを使用します。

- **オフ：** [オフ] を選択して、内蔵スピーカーをオフに切り替えます。
- **オン：** [オン] を選択して、内蔵スピーカーをオフに切り替えます。

ミュート

このオプションを使って、一時的に音声をオフに切り替えます。

- **オフ:** 「オフ」を選択して、ミュートをオフに切り替えます。
- **オン：**「オン」を選択して、ミュートをオンに切り替えます。

注記： *[ミュート] 機能は、内蔵および外付けスピーカーの音量に影響を与えます。*

音量

音量レベルを調整します。

プロジェクターを使用する

設定メニュー

設置モード

フロント、リア、フロント-上部、リア-上部からお好みの投影を選択します。

ランプ設定メニュー

ランプ警告

ランプ交換メッセージが表示されたときに、警告メッセージの表示/非表示を設定します。メッセージは、推奨されるランプの交換の約30時間前から表示されます。

ランプリセット

ランプ交換後、ランプの寿命カウンタをリセットする際に使用します。

フィルター設定メニュー

※日本モデルはフィルター仕様ではないため、エアフィルターを取り扱っておりません。

エアフィルタ使用時間

エアフィルタ使用時間を表示します。

エアフィルタ取付

警告メッセージを設定します。

- **はい：** 使用時間が500 時間を超えると警告メッセージが表示されます。
  注記： *"エアフィルタ使用時間 / エアフィルタ寿命 / エアフィルタ使用時間リセット] は [エアフィルタ取付] が [はい] の場合にのみ表示されます。*
- **いいえ：** 警告メッセージをオフにします。

エアフィルタ寿命

フィルター交換メッセージが表示されたときに、警告メッセージの表示/非表示を設定します。利用可能なオプションは、300 時間、500 時間、800 時間、および1000 時間です。

エアフィルタ使用時間リセット

エアフィルタを交換または洗浄した後、エアフィルタ使用時間をリセットしてください。

電源設定メニュー

電源検知オートパワーオン

[オン] を選択すると、電源探知オートパワーオンモードが有効になります。プロジェクターは、AC 電源が供給されると自動的に電源オンになります。プロジェクターのキーパッドまたはリモコンの [電源] キーを押す必要はありません。

タイマー電源オートパワーオフ

カウントダウンタイマーの時間を設定します。カウントダウンタイマーは、プロジェクターへの入力信号が途切れると、カウントダウンを開始します。カウントダウンが終了すると、自動的にプロジェクターの電源が切れます (単位は分です)。

スリープタイマー(分)

スリープタイマーを設定します。

- **スリープタイマー(分)：** カウントダウンタイマーの時間を設定します。カウントダウンタイマーは、プロジェクターへの入力信号の有無に関わらず、カウントダウンを開始します。カウントダウンが終了すると、自動的にプロジェクターの電源が切れます (単位は分です)。
  注記： *スリープタイマーは、プロジェクターの電源を切るたびにリセットされます。*
- **常にON：** スリープタイマーが常にONに設定されていることを確認します。

プロジェクターを使用する

セキュリティメニュー

セキュリティ

プロジェクターを使用する前にパスワード入力を求めるようにするには、この機能を有効にします。

- **オフ：** [オフ] を選択すると、パスワード検証を行うことなくプロジェクターの電源を入れることができます。
- **オン：** [オン] を選択すると、プロジェクターの電源を入れるときにセキュリティー検証を行います。

セキュリティタイマー

時間 (月/日/時) 機能を選択して、プロジェクターの使用可能時間数を設定します。設定した時間が経過すると、プロジェクターから再度パスワードを入力するよう要求されます。

パスワード変更

プロジェクターを電源オンする際、入力するように求められるパスワードを設定または変更するために使用します。

テストパターンメニュー

テストパターンを緑のグリッド、マゼンタのグリッド、白のグリッド、白から選択するか、この機能を無効にします (オフ)。

リモコン設定メニュー

リモコン受光設定

リモコン受光設定を行います。

- **オン：** [オン] を選択すると、上部および前面 IR レシーバーからリモコンでプロジェクターを操作できます。
- **オフ：** [オフ] を選択すると、リモコンでプロジェクターを操作できなくなります。[オフ] を選択すると、キーパッドのキ ーを使用できるようになります。

ユーザー1/ ユーザー2/ ユーザー3

ユーザー1、ユーザー2、または、ユーザー3 の既定の機能をテストパターン、輝度、コントラスト、スリープタイマー、カラーマッチング、色温度、ガンマ、設置モード、または、ランプ設定から割り当てます。

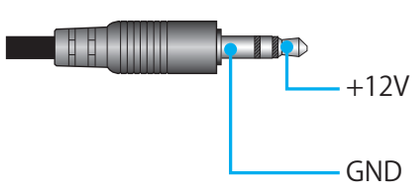
プロジェクターIDメニュー

ID 定義をメニュー (0～99まで) で設定できます。ユーザーは RS232 コマンドを使って、個別のプロジェクターをコントロールできるようになります。

12Vトリガメニュー

この機能を使って、トリガを有効または無効にします。

注記： *リレーシステム制御用に 12V 500mA (最大) を出力する 3.5 mm ミニジャック。*



- **オン**: [オン] を選択するとトリガが有効になります。
- **オフ**: [オフ] を選択するとトリガが無効になります。

プロジェクターを使用する

オプションメニュー

言語

多言語 OSD メニューを英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、簡体字中国語、 繁体字中国語、 日本語、韓国語およびロシア語から選択します。

メニュー設定

画面上のメニュー位置を設定し、メニュータイマーを設定します。

- **メニュー位置**：スクリーン上に表示されるメニューの位置を選択します。
- **メニュータイマー**：OSD メニューが画面上に表示される時間を設定します。

自動ソース

利用可能な入力源をプロジェクターに自動検出させるには、このオプションを選択します。

入力ソース

入力ソースを HDMI 1、HDMI 2、および、VGA から選択します。

高地モード

[オン] が選択されると、ファンがより高速に回転します。この機能は、高度が高く、空気の濃度が低い環境に便利です。

ディスプレーモードロック

[オン] または [オフ] を選択し、表示モード設定の調整をロックまたはロック解除します。

キーパッドロック

キーパッドロック機能が [オン] である時、キーパッドがロックされます。しかし、リモコンでプロジェクターを操作できます。[オフ] を選択すると、キーパッドを再び使用できるようになります。

信号表示

この機能を有効にして、情報メッセージを非表示にします。

- **オフ：** [オフ]を選択すると、[検索中] メッセージが表示されます。
- **オン：** [オン]を選択すると、[情報メッセージ] が非表示になります。

ロゴ

この機能を使って希望のスタートアップスクリーンを設定します。設定を変更した場合、次に電源を入れたときから新しい設定が適用されます。

- **デフォルト：** デフォルトの起動画面です。
- **ロゴ無し：** ロゴは起動画面に表示されません。

背景色

信号が利用できない場合、この機能を使って、青、赤、緑、グレー、または、なしを表示します。

リセットメニュー

OSDをリセット

OSD メニューの設定を工場出荷時デフォルト設定に戻します。

初期状態にリセット

すべての設定を工場出荷時の初期設定に戻します。

プロジェクターを使用する

情報メニュー

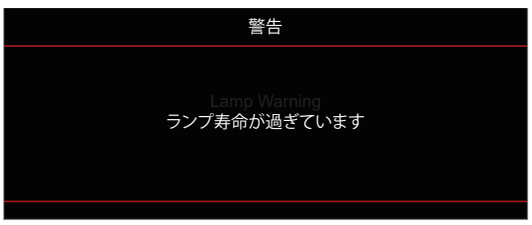
以下のプロジェクター情報を表示します:

- 制御
- シリアル番号
- 入力源
- 解像度
- リフレッシュレート
- ディスプレーモード
- ランプ使用時間
- プロジェクター ID
- エアフィルタ使用時間　※日本モデルはフィルター仕様でないため、エアフィルターを取り扱っておりません。
- ブライトネスモード
- FWバージョン

保守管理

ランプの交換 (メンテナンス担当者のみ)

プロジェクターは白熱電球の寿命を自動的に検出し、白熱電球の寿命が近づくと、画面に警告メッセージを表示します。



このメッセージが表示されたら、できるだけ早く、お近くの販売店またはテクニカルサポートセンターに白熱電球の交換を依頼してください。白熱電球を交換する前に、プロジェクターの電源を切り、電源コードを取り外し、30 分以上プロジェクターを冷却させ、白熱電球が完全に冷えていることを確認してください。

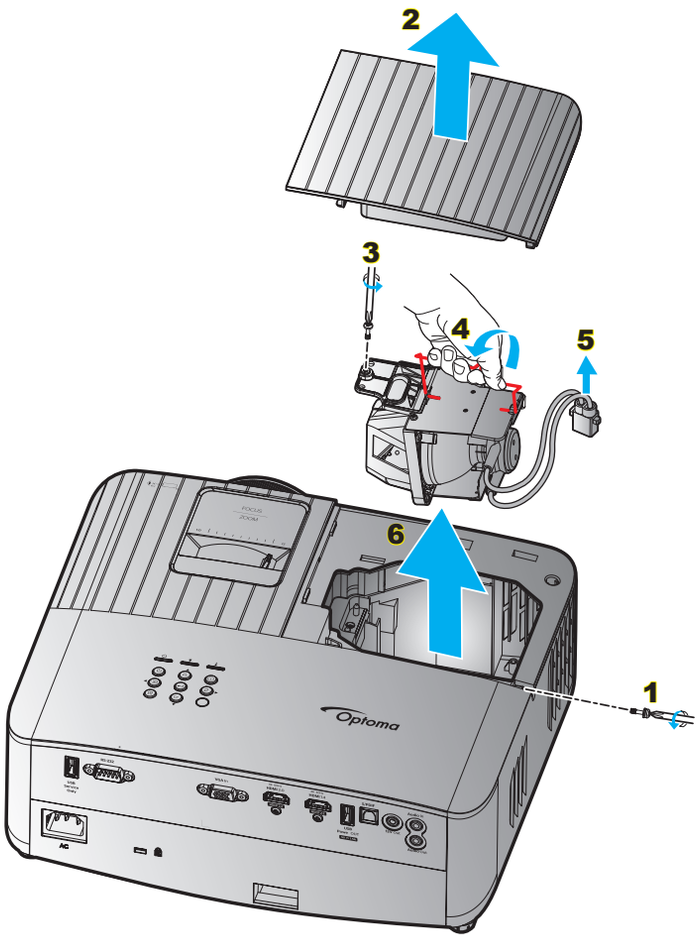
警告：天上から吊り下げる場合、ランプ アクセス パネルを開けるときは注意してください。天井から吊り下げている状態で電球を交換する場合、安全メガネを着用することをお勧めします。プロジェクターからゆるんだ部品が落下しないように、注意を払う必要があります。

警告：ランプコンパートメントは熱くなっています! 放熱を待ち、ランプが十分に冷めてから交換してください!

警告：怪我を防止するため、ランプを落下させたり、ランプのバルブに触れることのないようご注意ください。バルブが落下すると粉々に砕けて飛び散り、怪我をする恐れがあります。

保守管理

ランプの交換 (続き)



手順:

1. プロジェクターのキーパッドにある [⏻] ボタンを押すか、リモコンの [⏻] ボタンを押し、プロジェクターの電源をオフにします。
2. ランプが十分に冷めるまで約 30 分間お待ちください。
3. 電源コードを外します。
4. 上部カバーを固定している 1 本のネジを外します。1
5. ランプカバーを取り外します。2
6. ランプモジュールにあるネジを取り外します。3
7. ランプハンドルを持ち上げます。4
8. ランプコードを取り外します。5
9. ランプモジュールを慎重に取り外します。6
10. ランプモジュールを交換し、上記の手順を逆に繰り返します。
11. プロジェクターの電源をオンにし、ランプのタイマーをリセットします。
12. ランプリセット: (i) [メニュー] を押し → (ii) [設定] を選択し→ (iii) [ランプ設定] を選択し→ (iv) [ランプリセット] を選択し→ (v) [はい] を選択します。

注記:

13. *プロジェクターにランプ カバーが戻されなかった場合、プロジェクターは動作しません。*
14. *ランプのガラス部分には、触れないようにしてください。手の油分が付着すると、ランプが破裂する恐れがあります。誤ってガラス部分に触れてしまった場合は、乾いた布を使ってランプモジュールを拭いてください。*

追加情報

対応解像度

ビデオの互換性

信号	解像度
SDTV	480i/p、576i/p
HDTV	720p (50/60Hz)、1080i (50/60Hz)、1080p (24/50/60Hz)
UHD	2160p (24/50/60Hz)

ビデオタイミングの詳細：

信号	解像度	リフレッシュ速度 (Hz)	注記
SDTV (480i)	640 x 480	60	コンポーネントの場合
SDTV (480p)	640 x 480	60	
SDTV (576i)	720 x 576	50	
SDTV (576p)	720 x 576	50	
HDTV (720p)	1280 x 720	50/60	
HDTV (1080i)	1920 x 1080	50/60	
HDTV (1080p)	1920 x 1080	24/50/60	
UHD (2160p)	3840 x 2160	24/50/60	4K UHD の場合

注記： *HDMI ポートを除く各 I/O ポートの検索時間は 5 秒以内です。*

コンピューターの互換性

VESA 規格 (アナログ RGB の互換性)：

信号	解像度	リフレッシュ速度 (Hz)	Mac に関する注記
SVGA	800 x 600	56/60/72/85	Mac 60/72/85
XGA	1024 x 768	60/70/75/85	Mac 60/70/75/85
HDTV(720P)	1280 x 720	50/60	Mac 60
WXGA	1280 x 768	60/75/85	Mac 60/75/85
WXGA	1280 x 800	60	Mac 60
WXGA	1366 x 768	60	Mac 60
WXGA+	1440 x 900	60	Mac 60
SXGA	1280 x 1024	60/75/85	Mac 60/75
UXGA	1600 x 1200	60	
HDTV(1080p)	1920 x 1080	24/50/60	Mac 60
WUXGA	1920 x 1200 (*)	60	Mac 60
UHD	3840 x 2160	24/50/60Hz	

注記： *(*) 1920 x 1200 @60HzはRB (レデュースドブランキング) のみをサポートします。*

追加情報

PC のタイミングテーブル：

信号	解像度	水平周波数	リフレッシュ レート				
		(KHz)	(Hz)	ビデオ	デジタル	アナログ	注記
SVGA	800 x 600	35.2	56.3	該当なし	√	√	56Hz
SVGA	800 x 600	37.9	60.3	該当なし	√	√	60Hz
SVGA	800 x 600	46.9	75	該当なし	√	√	該当なし
SVGA	800 x 600	48.1	72.2	該当なし	√	√	72Hz
SVGA	800 x 600	53.7	85.1	該当なし	√	√	85Hz
SVGA	832 x 624	該当なし	75	該当なし	√	√	該当なし
XGA	1024 x 768	48.4	60	該当なし	√	√	該当なし
XGA	1024 x 768	56.5	70.1	該当なし	√	√	70Hz
XGA	1024 x 768	60	75	該当なし	√	√	該当なし
XGA	1024 x 768	68.7	85	該当なし	√	√	該当なし
XGA	1024 x 768	該当なし	120	該当なし	該当なし	√	該当なし
XGA	1152 x 864	該当なし	75	該当なし	√	√	該当なし
HD720	1280 x 720	該当なし	50	該当なし	√	√	該当なし
HD720	1280 x 720	該当なし	60	該当なし	√	√	該当なし
HD720	1280 x 720	92.62	120	該当なし	該当なし	√	該当なし
WXGA	1280 x 768	47.4	60	該当なし	√	√	該当なし
WXGA	1280 x 768	該当なし	75	該当なし	√	√	該当なし
WXGA	1280 x 768	該当なし	85	該当なし	√	√	該当なし
WXGA-800	1280 x 800	該当なし	60	該当なし	√	√	該当なし
SXGA	1280 x 1024	64	60	該当なし	√	√	該当なし
SXGA	1280 x 1024	80	75	該当なし	√	√	該当なし
SXGA	1280 x 1024	91.1	85	該当なし	√	√	該当なし
SXGA+	1400 x 1050	該当なし	60	該当なし	該当なし	√	該当なし
UXGA	1600 x1200	75	60	該当なし	√	√	該当なし
HD1080	1920 x 1080	該当なし	24	該当なし	√	√	該当なし
HD1080	1920 x 1080	該当なし	50	該当なし	√	√	該当なし
HD1080	1920 x 1080	該当なし	60	該当なし	√	√	該当なし
WUXGA	1920 x 1200	該当なし	60	該当なし	√	√	該当なし
HDTV	1920 x 1080i	該当なし	50	該当なし	√	√	該当なし
HDTV	1920 x 1080i	該当なし	60	該当なし	√	√	該当なし
HDTV	1920 x 1080p	該当なし	24	該当なし	√	√	該当なし
HDTV	1920 x 1080p	該当なし	50	該当なし	√	√	該当なし
HDTV	1920 x 1080p	該当なし	60	該当なし	√	√	該当なし
HDTV	1280 x 720	45	60	√	該当なし	該当なし	該当なし
HDTV	1280 x 720p	該当なし	50	該当なし	√	√	該当なし
HDTV	1280 x 720p	該当なし	60	該当なし	√	√	該当なし
SDTV	720 x 576	31.3	50	√	該当なし	該当なし	該当なし
SDTV	720 x 576i	該当なし	50	該当なし	√	√	該当なし
SDTV	720 x 576p	該当なし	50	該当なし	√	√	該当なし
SDTV	720 x 480	31.5	60	√	該当なし	該当なし	該当なし
SDTV	720 x 480i	該当なし	60	該当なし	√	√	該当なし
SDTV	720 x 480p	該当なし	60	該当なし	√	√	該当なし

注記： *「√」は、解像度がサポートされることを意味し、「該等なし」は、解像度が利用できないことを意味します。*

追加情報

MAC のタイミングテーブル：

解像度		Macbook の互換性		Macbook Pro (Intel) の互換性		Power Mac G5 の互換性		Power Mac G4 の互換性	
	Hz	デジタル	アナログ	デジタル	アナログ	デジタル	アナログ	デジタル	アナログ
800 x 600	60	√	√	√	√	該当なし	該当なし	√	該当なし
800 x 600	72	√	√	√	√	該当なし	√	√	√
800 x 600	75	√	√	√	√	該当なし	√	√	√
800 x 600	85	√	√	該当なし	√	該当なし	√	√	√
1024 x 768	60	√	√	√	√	該当なし	√	√	√
1024 x 768	70	√	√	√	√	該当なし	√	√	√
1024 x 768	75	√	√	√	√	該当なし	√	√	√
1024 x 768	85	√	√	√	√	該当なし	√	√	√
1280 x 720	60	√	√	√	√	該当なし	√	√	√
1280 x 768	60	√	√	√	√	該当なし	該当なし	該当なし	√
1280 x 768	75	該当なし	√	該当なし	√	該当なし	√	√	√
1280 x 768	85	該当なし	√	該当なし	√	該当なし	該当なし	該当なし	√
1280 x 800	60	該当なし	√	該当なし	√	該当なし	√	√	√
1280 x 1024	60	√	該当なし	該当なし	√	該当なし	√	√	√
1280 x 1024	75	√	該当なし	該当なし	√	該当なし	√	√	該当なし
1920 x 1080	60	√	該当なし	該当なし	√	該当なし	√	√	√
1920 x 1200(*1)	60	√	該当なし	該当なし	√	該当なし	√	√	√
3840 x 2160	60								

注記：

- *「√」は、解像度がサポートされることを意味し、「該等なし」は、解像度が利用できないことを意味します。*
- *(*1) 1920 x 1200 @60HzはRB (レデュースドブランキング) のみをサポートします。*

HDMI 入力信号

信号	解像度	リフレッシュ速度 (Hz)	Mac に関する注記
SVGA	800 x 600	6072/85/120	Mac 60/72/85
XGA	1024 x 768	60/70/75/85/120	Mac 60/70/75/85
SDTV(480I)	640 x 480	60	該当なし
SDTV(480P)	640 x 480	60	該当なし
SDTV(576I)	720 x 576	50	該当なし
SDTV(576P)	720 x 576	50	該当なし
HDTV(720p)	1280 x 720	50/60	Mac 60
WXGA	1280 x 768	60/75/85	Mac 75
WXGA	1280 x 800	60/120	Mac 60
WXGA(*2)	1366 x 768	60	該当なし
WXGA+	1440 x 900	60/120(RB)	Mac 60
SXGA	1280 x1024	60/75/85	Mac 60/75
SXGA+	1400 x1050	60/85	該当なし
UXGA	1600 x 1200	60/65/70/75/85	該当なし
HDTV(1080I)	1920 x1080	50/60	該当なし
HDTV(1080p)	1920 x1080	24/30/50/60/120	Mac 60
WUXGA	1920 x 1200(*1)	60	Mac 60RB
WQHD	2560 x 1440	60RB	該当なし
UHD(2160p)	3840 x 2160	24/30/50/60	Mac 24/30
UHD(2160p)	4096 X 2160	24/30/50/60	Mac 24

追加情報

注記：

- *「√」は、解像度がサポートされることを意味し、「該等なし」は、解像度が利用できないことを意味します。*
- *(*1) 1920 x 1200 @60HzはRB (レデュースドブランキング) のみをサポートします。*
- *(*2) Windows 10 標準タイミング。*

拡張ディスプレイ識別データ (EDID) テーブル

デジタル信号(HDMI 2.0)：

B0/確立タイミング	B0/標準タイミング	B0/標準タイミング	B1/ビデオモード	B1/詳細タイミング
デジタル：ネイティブ解像度: 3840 x 2160 @ 60Hz				
		3840 x 2160 @ 60Hz (デフォルト)	720 x 480i @ 60Hz 16:9	1920 x 1080 @ 120Hz
	1280 x 800 @ 60Hz		720 x 480p @ 60Hz 4:3	1366 x 768 @ 60Hz
	1280 x 1024 @ 60Hz		720 x 576i @ 50Hz 16:9	1920 x 1080 @ 240Hz
	1920 x 1200 @ 60Hz		720 x 576p @ 50Hz 4:3	
	800 x 600 @ 120Hz		1920 x 1080i @ 60Hz 16:9	
800 x 600 @ 56Hz	1024 x 768 @ 120Hz		1920 x 1080i @ 50Hz 16:9	
800 x 600 @ 60Hz	1280 x 800 @ 120Hz		1920 x 1080p @ 60Hz 16:9	
800 x 600 @ 72Hz			1920 x 1080p @ 50Hz 16:9	
800 x 600 @ 75Hz			1920 x 1080p @ 24Hz 16:9	
832 x 624 @ 75Hz			3840 x 2160 @ 24Hz	
1024 x 768 @ 60Hz			3840 x 2160 @ 25Hz	
1024 x 768 @ 70Hz			3840 x 2160 @ 30Hz	
1024 x 768 @ 75Hz			3840 x 2160 @ 50Hz	
1280 x 1024 @ 75Hz			3840 x 2160 @ 60Hz	
1152 x 870 @ 75Hz			4096 x 2160 @ 24Hz	
			4096 x 2160 @ 25Hz	
			4096 x 2160 @ 30Hz	
			4096 x 2160 @ 50Hz	
			4096 x 2160 @ 60Hz	

追加情報

アナログ信号：

B0/確立タイミング	B0/標準タイミング	B0/詳細タイミング	B1/ビデオモード	B1/詳細タイミング
アナログネイティブ解像度：1920 x 1080 @ 60Hz				
	1280 x 720 @ 60Hz	1920 x 1080 @ 60Hz (デフォルト)		1366 x 768 @ 60Hz
	1280 x 800 @ 60Hz			
	1280 x 1024 @ 60Hz			
	1920 x 1200 @ 60Hz			
800 x 600 @ 56Hz	800 x 600 @ 120Hz			
800 x 600 @ 60Hz	1024 x 768 @ 120Hz			
800 x 600 @ 72Hz	1280 x 800 @ 120Hz			
800 x 600 @ 75Hz				
832 x 624 @ 75Hz				
1024 x 768 @ 60Hz				
1024 x 768 @ 70Hz				
1024 x 768 @ 75Hz				
1280 x 1024 @ 75Hz				
1152 x 870 @ 75Hz				

3D タイミング

Blu-ray 3D の場合 (HDMI 1.4a)：

2D サポートフレームレート	タイミング	フォーマット
59/60 Hz オプション:	1920 x 1080p @ 23.98/24 Hz	フレームパッキング
	1280 x 720p @ 59.94 / 60Hz	フレームパッキング
50 Hz オプション:	1920 x 1080p @ 23.98/24 Hz	フレームパッキング
	1280 x 720p @ 50Hz	フレームパッキング

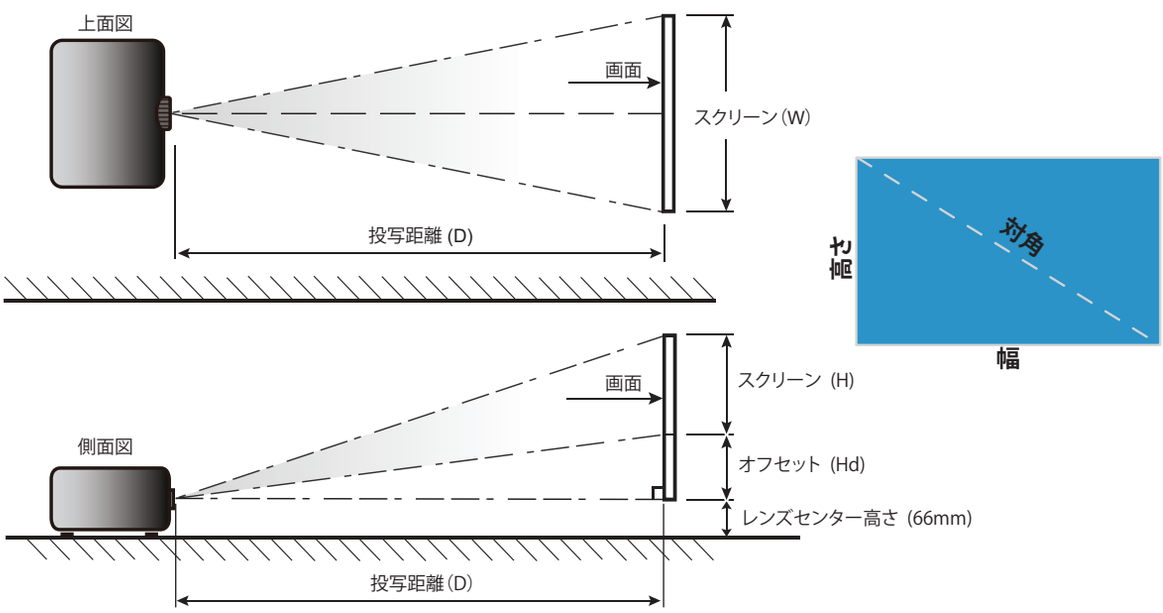
PC の場合：

	タイミング	フォーマット
HDMI：	1920 x 1080 @ 120Hz	フレームシーケンシャル
	1280 x 800 @ 120Hz	フレームシーケンシャル
	1024 x 768 @ 120Hz	フレームシーケンシャル
	800 x 600 @ 120Hz	フレームシーケンシャル
VGA：	1280 x 800 @ 120Hz	フレームシーケンシャル
	1024 x 768 @ 120Hz	フレームシーケンシャル
	800 x 600 @ 120Hz	フレームシーケンシャル

追加情報

イメージサイズと投写距離

16:9 画面の対角長さ (インチ)	画面サイズ幅 x 高さ				投写距離 (D)				オフセット (HD)	
	(m)		(インチ)		(m)		(フィート)			
	幅	高さ	幅	高さ	広角	望遠	広角	望遠	(m)	(インチ)
30	0.66	0.37	26.15	14.71	1.00	1.10	-	3.59	0.02	0.07
40	0.89	0.50	34.86	19.61	1.33	1.46	4.36	4.79	0.03	0.09
60	1.33	0.75	52.29	29.42	1.99	2.19	6.53	7.19	0.04	0.13
70	1.55	0.87	61.01	34.32	2.32	2.56	7.62	8.38	0.05	0.16
80	1.77	1.00	69.73	39.22	2.66	2.92	8.71	9.58	0.05	0.18
90	1.99	1.12	78.44	44.12	2.99	3.29	9.80	10.78	0.06	0.20
100	2.21	1.25	87.16	49.03	3.32	3.65	10.89	11.98	0.07	0.22
120	2.66	1.49	104.59	58.83	3.98	4.38	13.07	14.37	0.08	0.27
150	3.32	1.87	130.74	73.54	4.98	5.48	16.33	17.97	0.10	0.34
180	3.98	2.24	156.88	88.25	5.98	6.57	19.60	21.56	0.13	0.40
200	4.43	2.49	174.32	98.05	6.64	7.30	21.78	23.95	0.14	0.45
250	5.53	3.11	217.89	122.57	8.30	9.13	27.22	29.94	0.17	0.56
300.6	6.65	3.74	262.00	147.37	9.98	10.98	32.73	-	0.21	0.68

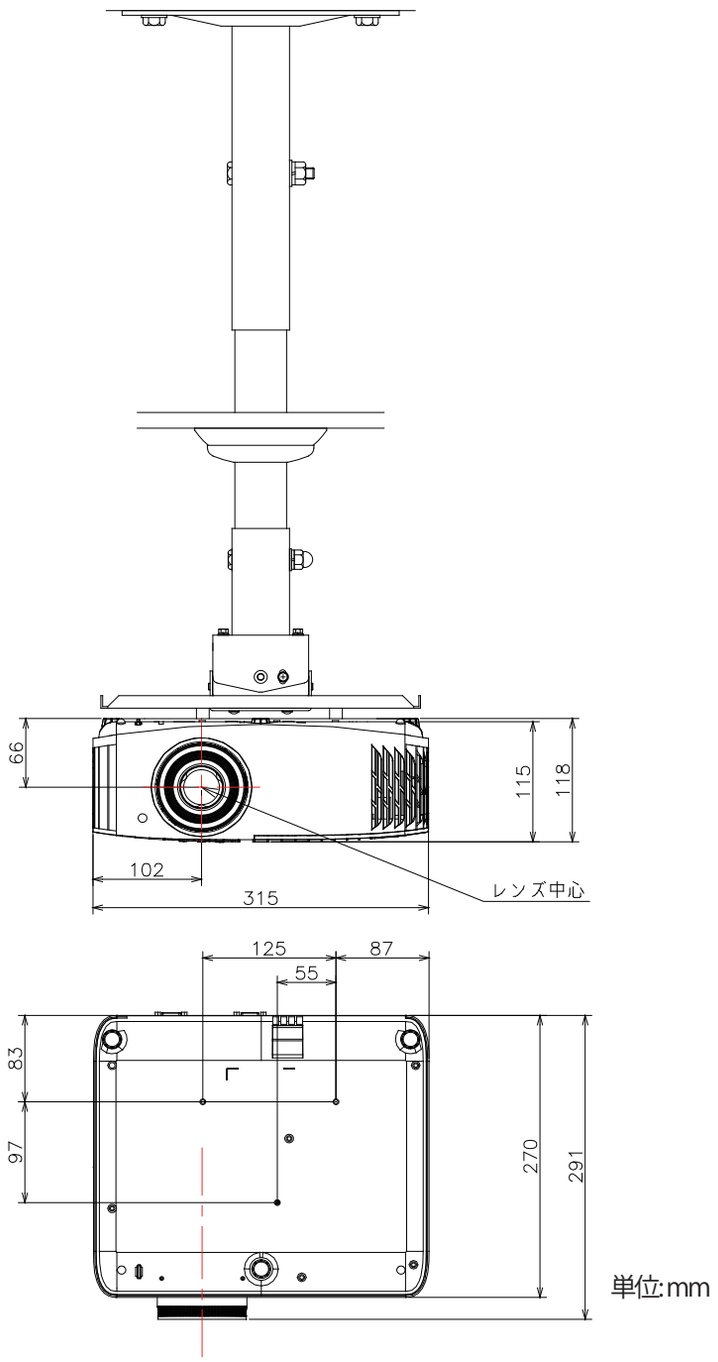


追加情報

プロジェクターの寸法と天井取り付け

1. プロジェクターの損傷を防ぐため、必ずオーエスの天吊り用パッケージを使用して取り付けてください。
2. 他社製の天吊りキットをご利用になる場合は、プロジェクターを取り付けるネジが以下の仕様に適合していることを必ず確認してくださ い。

- ねじの種類：M4
- ねじ深さ：10mm



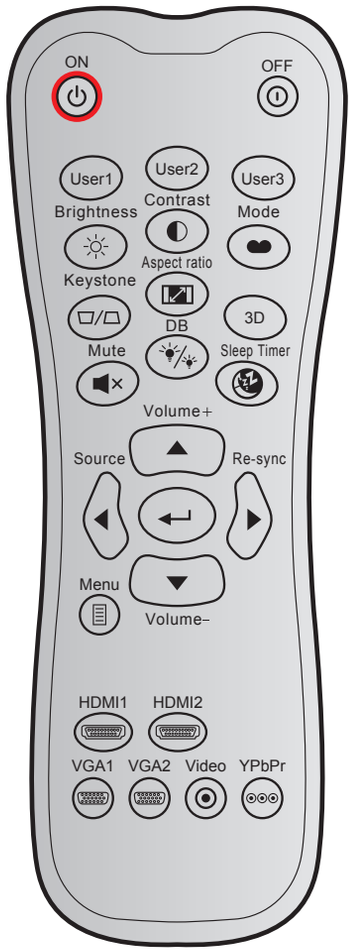
注記： *プロジェクターを正しく取り付けていないことが原因で発生した損傷に関しましては、保証は無効になります。予めご了承ください。*

警告:

- 他社製の天吊りキットをお求めになる場合、必ずネジのサイズが正しいことをご確認ください。ネジのサイズは、天吊りプレートの厚みによって異なります。
- プロジェクターの底部と天井の間には、少なくとも 10 cm の隙間が開くようにします。
- プロジェクターは、熱源の近くに設置しないで下さい。

追加情報

IR リモートコード



キー		NEC フォーマット	カスタマーコード		キーコード		説明
			バイト 1	バイト 2	バイト 3	バイト 4	
パワーオン	⏻	フォーマット 1	32	CD	02	FD	押すとプロジェクターの電源がオンになります。
電源オフ	⏻	フォーマット 1	32	CD	2E	D1	押すとプロジェクターの電源がオフになります。
ユーザー1		フォーマット 1	32	CD	36	C9	ユーザー定義キー。
ユーザー2		フォーマット 1	32	CD	65	9A	
ユーザー3		フォーマット 1	32	CD	66	99	
輝度	☼	フォーマット 1	32	CD	41	BE	画像の輝度を調整します。
コントラスト	◐	フォーマット 1	32	CD	42	BD	映像の最暗部（黒）と最明部（白）の差の度合いを調整します。
ディスプレーモード		フォーマット 1	32	CD	05	FA	さまざまなアプリケーションの最適設定を行う場合、ディスプレーモードを選択してください。
キーストン	⏢/⏢	フォーマット 1	32	CD	07	F8	押すと、プロジェクターを斜め方向から投影することで生じる画像のゆがみを調整します。
アスペクト比	⤢	フォーマット 1	32	CD	64	9B	これを押すと、表示画像のアスペクト比を変更できます。
3D		フォーマット 1	32	CD	89	76	押して、3D モード機能を有効/無効にします。

追加情報

キー		NEC フォーマット	カスタマーコード		キーコード		説明
			バイト 1	バイト 2	バイト 3	バイト 4	
ミュート		フォーマット 1	32	CD	52	AD	一時的に音声のオン/オフを切り換えることができます。
DB (Dynamic Black)		フォーマット 1	32	CD	44	BB	最適のコントラストパフォーマンスを発揮できるように、画像の輝度を自動的に調整します。
スリープタイマー		フォーマット 1	32	CD	63	9C	カウントダウンタイマーの時間を設定します。
音量 +		フォーマット 2	32	CD	11	EE	調整して、音量を上げます。
▲		フォーマット 2	32	CD	11	EE	▲、 ◀、 ▶、または▼ を使用して項目を選択するか、選択に合わせて調整を行います。
◀		フォーマット 2	32	CD	10	EF	
▶		フォーマット 2	32	CD	12	ED	
▼		フォーマット 2	32	CD	14	EB	
ソース		フォーマット 2	32	CD	10	EF	[入力源] を押して入力信号を選択します。
Enter キー		フォーマット 1	32	CD	0F	F0	選択した項目を確定します。
再同期		フォーマット 2	32	CD	12	ED	プロジェクターが自動的に入力ソースと同期します。
音量 -		フォーマット 2	32	CD	14	EB	調整して、音量を下げます。
メニュー		フォーマット 1	32	CD	0E	F1	プロジェクターのオンスクリーン表示メニューを表示したり終了したりします。
HDMI1		フォーマット 1	32	CD	16	E9	[HDMI1] を押して、HDMI 1 端子からソースを選択します。
HDMI2		フォーマット 1	32	CD	30	CF	[HDMI2] を押してHDMI 2コネクタからソースを選択します。
VGA1		フォーマット 1	32	CD	1B	E4	[VGA1] を押し、VGA 端子からソースを選択します。
VGA2		フォーマット 1	32	CD	1E	E1	機能なし
ビデオ		フォーマット 1	32	CD	1C	E3	機能なし
YPbPr		フォーマット 1	32	CD	17	E8	機能なし

追加情報

故障かなと思ったら

プロジェクターに問題が発生した場合は、以下をご参照ください。それでも問題が解決しない場合、最寄りの販売店またはテクニカルサポートセンターにお問い合わせください。

画像の問題

画面に画像が表示されない

- すべてのケーブルと電源が、「設置方法」の章に記載されている手順どおりに正しく接続されていることを確認してください。
- 各接続ピンが曲がっていたり、壊れていないかどうか、ご確認ください。
- プロジェクター ランプが正しく取り付けられているか確認してください。 *36-37*ページの [ランプの交換] を参照してください。
- [ミュート] 機能がオンに設定されていないか確認してください。

画像のピントが合っていない

- プロジェクターレンズのフォーカスリングで調整してください。*16*ページを参照してください。
- 投写画面がプロジェクターから必要な距離の間に入っていることを確認してください。(*43*ページを参照してください)。

16:9 DVD タイトルを再生表示しているとき、画像が伸びる

- アナモフィック DVD または 16:9 DVD を再生しているとき、プロジェクターはプロジェクター側で 16: 9 フォーマットで最高の画像を表示します。
- LBXフォーマットのDVDタイトルを再生している場合、プロジェクターのOSDでLBXとしてフォーマットを変更してください。
- 4:3 フォーマット DVD タイトルを再生している場合、プロジェクター OSD で 4:3 としてフォーマットを変更してください。
- お使いの DVD プレーヤーで、16:9 (ワイド) アスペクト比タイプとして表示フォーマットをセットアップしてください。

画像が大きすぎる、または小さすぎる

- プロジェクター上部のズームレバーを調整します。
- プロジェクターを画面に近づけたり、遠ざけたりしてください。
- プロジェクターパネルの [メニュー] を押し、「ディスプレー→アスペクト比」に進みます。別の設定を試してみます。

画像が横に傾く:

- 可能であれば、プロジェクターがスクリーンの中央下端に来るように配置し直してください。

画像が反転する

- OSDから [設定→設置モード] を選択し、投写方向を調整します。

ぼやけた二重画像

- 通常の 2D 画像がぼやけた二重画像にならないよう、[ディスプレーモード] が 3D でないことを確認してください。

追加情報

その他の問題

プロジェクターがすべてのコントロールへの反応を停止します

- 可能であれば、プロジェクターの電源を切って電源コードを抜き、20 秒待ってから電源を接続し直してください。

ランプが消える、またはランプから破裂音がする

- ランプが寿命に近づくと、ランプはいずれ切れます。また、大きな破裂音が発生することがあります。この場合、ランプモジュールを交換しない限り、プロジェクターの電源を入れることはできません。「ランプの交換」(36-*37ページ) に記載の手順に従ってランプを交換してください。*

リモコンの問題

リモコンが作動しない場合、次を確認してください

- リモコンの操作角度が、プロジェクターの IR レシーバーから ±15° 以上ずれていないことを確認します。
- リモコンとプロジェクターとの間に障害物がないことを確認する。プロジェクターから 7 m (約 22 フィート) 以内に移動する。
- 電池が正しくセットされていることを確認する。
- 古くなった電池は、新しいものと交換します。

警告インジケーター

警告インジケーター (以下を参照) が点灯または点滅すると、プロジェクターは自動的にシャットダウンします:

- 「ランプ」LED インジケーターが赤く点灯し、「オン/スタンバイ」インジケーターが赤色に点滅している場合。
- 「温度」LED インジケーターが赤く点灯し、「オン/スタンバイ」インジケーターが赤色に点滅している場合。この状態は、プロジェクターが過熱していることを示しています。標準の条件下になると、プロジェクターのスイッチをオンにすることができます。
- 「温度」LED インジケーターが赤く点滅し、「オン/スタンバイ」インジケーターが赤色に点滅している場合。

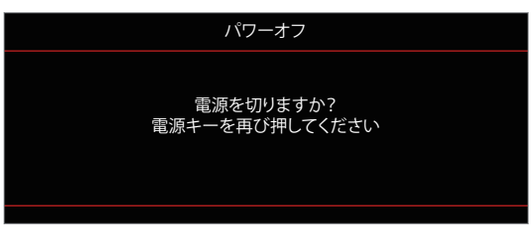
プロジェクターから電源コードを抜き、30 秒後に再試行します。警告インジケーターが点灯または点滅したら、最寄りのテクニカルサポートセンターに連絡して対処法をお尋ねください。

追加情報

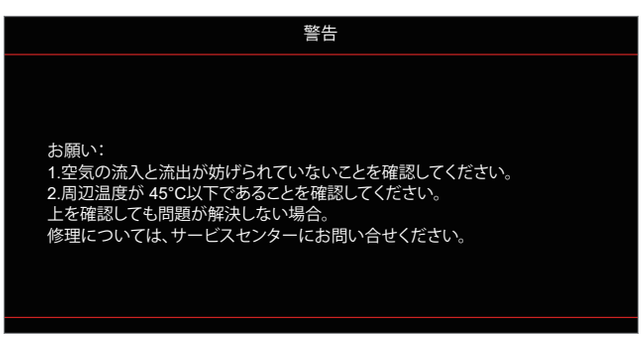
LED 点灯メッセージ

メッセージ	オン/スタンバイ LED		温度 LED	ランプ LED
	(赤)	(青)	(赤)	(赤)
スタンバイ状態 (入力電源コード)	点灯			
電源オン (ウォーミング)		点滅 (0.5 秒オフ / 0.5 秒オン)		
電源オン/ランプ点灯		点灯		
電源オフ (冷却)		点滅 (0.5 秒オフ / 0.5 秒オン)。冷却ファンがオフになると、赤の点灯に戻ります。		
エラー (ランプトラブル)	点滅			点灯
エラー (ファンが異常です)	点滅		点滅	
エラー (過熱)	点滅		点灯	
スタンバイ状態 (バーンインモード)		点滅		
バーンイン (警告)		点滅		
バーンイン (冷却中)		点滅		
バーンイン (ランプ点灯)		点滅 (3 秒オン/1 秒オフ)		
バーンイン (ランプオフ)		点滅 (1 秒オン/3 秒オフ)		

- 電源オフ:

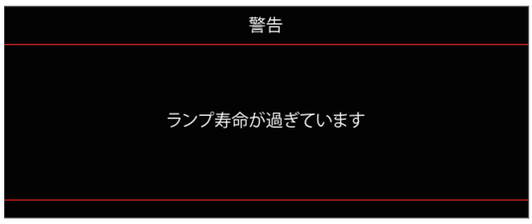


- 温度警告:

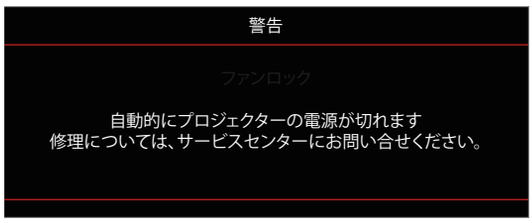


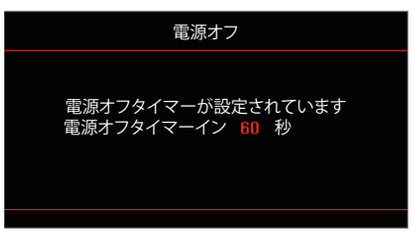
追加情報

- ランプ警告:



- ファンのトラブル:



- 表示範囲外:

- 電源ダウン警告: